

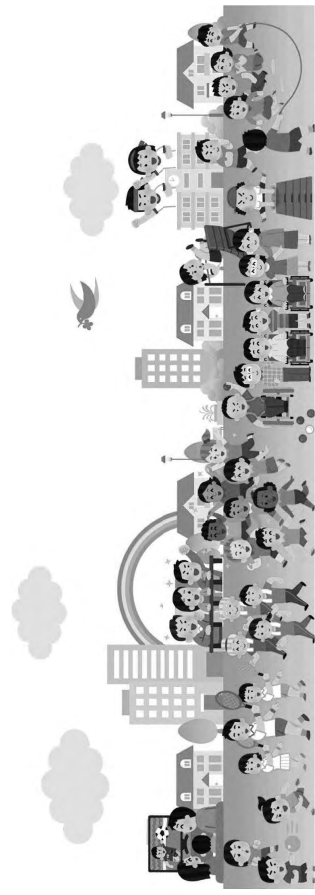
資料編

- ・令和4年度福岡県体育・スポーツ研修報告会調査研究事業報告資料
- ・体育の学習に関する生徒アンケートⅠ用紙（中学校の例）
- ・令和4年度「体育の学習に関する児童生徒アンケート」質問項目別結果
- ・令和4年度「体育の学習に関する児童生徒アンケート」因子別結果

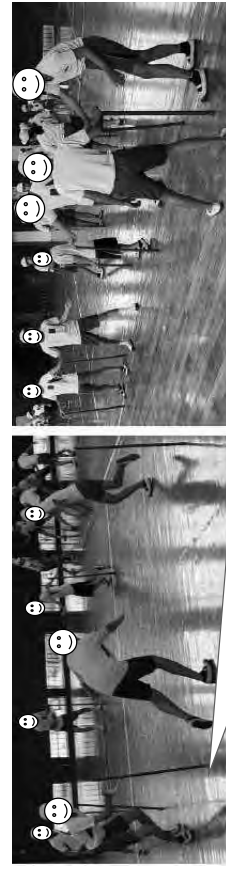
福岡県体育研究所 令和2・3・4年度調査研究事業
「共生を基盤とした体育の授業づくり」



多様なすべての児童生徒が、相互に学び合い、生かし合う体育の授業づくり
豊かなスポーツライフの実現に向けて、“運動好き”の児童生徒を育む



【小学校 高学年 体づくり運動】



日頃は運動が苦手で、体育があまり好きではない児童から
「先生！次はいつ体育するの？早く体育したい！」
と言われて、嬉しかったです！



福岡県体育研究所調査研究事業「共生を基盤とした体育の授業づくり」の概要

共生の意義と課題	目指す姿	令和2年度 理論構築	令和3年度 実践事例1	令和4年度 実践事例2
意義 ○「誰一人取り残さない」SDGs ○「インクルージブ」PE2030 ○共生社会の実現に向けて ○共生の視点を踏まえた指導の充実	多様なすべての児童生徒が、相互に学び合い、生かし合う体育の授業づくり 豊かなスポーツライフの実現に向けて、“運動好き”の児童生徒を育む	課題 ○「技能偏重」「勝敗や競争の目的化」 ○「関わり合う授業」の充実 ○「分けて授業する」多様性の分断 ○運動やスポーツに対する教師（育）観	○理論構築（国際社会の動向、国や県の動向、学習指導要領等） ○組織づくり（調査研究委員会、授業実践協力者） ○授業実践の検討（授業づくりの考え方、授業づくりのポイント、検証アンケート等）	○授業づくりのポイントを踏まえた実践 ①多様な仲間とのかかわりの機会 ・各学習過程における工夫 ②すべての児童生徒が運動のもつ価値や楽しさに触れる工夫 ・教材の工夫（教材化） ・場の工夫、教員の工夫
			○児童生徒の実態を踏まえた実践 ①共生体育態度アンケートの5つの因子に着目した仕掛けの工夫 「リーダーシップ」「ちがいの受容」「失敗への排斥」「過度な勝利志向」「排除雰囲気」 ②特別支援学校における実践 ○様々な領域・内容での実践	

調査研究事業「共生を基盤とした体育の授業づくり」推進実践の具体一覧表（令和3・4年度）									
領域	小学校			中学校			高等学校		
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
陸上競技									
球技									
水泳									
武道									
その他									
総合的な学習の時間									
特別活動									
保健体育									
外国語									
数学									
理科									
社会									
国語									
英語									
芸術									
職業									
情報									
家庭									
道徳									
キャリア教育									
防災教育									
環境教育									
食育									
性教育									
生涯学習									
その他									
合計	6年生	6年生	6年生	6年生	6年生	6年生	6年生	6年生	6年生
小・中・高・特の実践協力者18名									
合計30の授業実践									

令和3年度【授業づくりのポイントを踏まえた実践】

- ①多様な仲間とのかかわりの機会【小学校 低学年 走・跳の運動遊び】
- 仲間と学び合いながら動きを高めるための仕掛け

お互いに口伴奏や手拍子でリズムをとって動きづくり

高く跳ぶためのポイントを伝え合い、動きを確かめる活動



「音楽の時間に学習した『こぎつね』のリズムで跳ぶと楽しいよ」

「タ・タン・タ・タンのリズムが楽しいよ」

「両足をお腹につけるくらい上げて跳ぶと高く跳べたよ」

「ト・ト・トンのリズムで跳ぶと高く跳べるよ」

令和3年度【授業づくりのポイントを踏まえた実践】

- 実践後の共生体育態度アンケートにおいて、特に数値が向上した項目

2	体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。
3	体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。
5	体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。
6	体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです。
9	体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。
10	体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

令和3年度【授業づくりのポイントを踏まえた実践】

- ②すべての児童生徒が運動のもつ価値や楽しさに触れる【高等学校 球技】
- 生徒全員が積極的にボール等用具を操作するための仕掛け

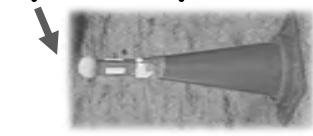
【ゴール型「サッカー」】 【ベースボール型「ソフトボール」】

「新聞ボール」



- 転がりが少ないため、①ボール操作が容易
- ②プレイ時間（ボール操作の時間）が長い
- 適度な柔らかさがあるため、生徒の恐怖心が軽減
- ボールスピードが遅いため、空いた空間を見る／動く機会の増加

「コーン」



- 牛乳パックを使用することで、バットが当たってもコーンが割れることがない。
- 安全に、思い切り、何度も、バットでボールを打つことができるように、新聞ボールを準備する。

令和3年度【授業づくりのポイントを踏まえた実践】

＞今後の実践に向け、協議・工夫・改善していく項目

11	体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。
14	体育のゲームで、勝つことは何よりも大切です。
16	体育のゲームで、仲間と協力することより勝てることの方が大事です。

- ・児童生徒が①全員で、②全力で、勝敗を競う（ゲームを楽しむ）ことができるよりよい仕掛けについて考える。
- ・児童生徒個々の実態に応じた、支援を工夫していく。
- ・指導と評価を一体として捉える上で、適切な評価の在り方について、実践を通して明らかにする。

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

＞共生体育態度アンケート（4件法）

1	体育のゲームで、よく得点できます。
2	体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。
3	体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。
4	体育の学習中、チームで協力して苦手な子をカバーできます。
5	体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。

「体育の授業で、自分の意見が言えない…」

I リーダーシップ因子

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

「体育の授業で、失敗すると笑われる…」

「体育の授業で、自分の意見が言えない…」

「体の大きい人と運動するのは、ちょっと怖い…」

「協力するよりゲームで勝つことが大事やん!」

「〇〇さんと同じチームだと負けるやん…」

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

＞共生体育態度アンケート（4件法）

6	体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです。
7	体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。
8	体育の学習で、体格のちがう子と協力できるとうれしいです。
9	体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。
10	体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。

「体の大きい人と運動するのは、ちょっと怖い…」

II ちがいの受容

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

➤共生体育態度アンケート（4件法）

11	体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。
12	体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。
13	体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。



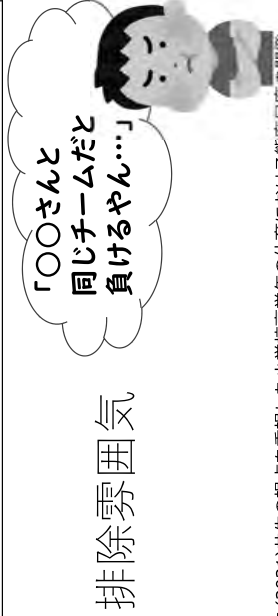
Ⅳ 失敗への排斥

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

➤共生体育態度アンケート（4件法）

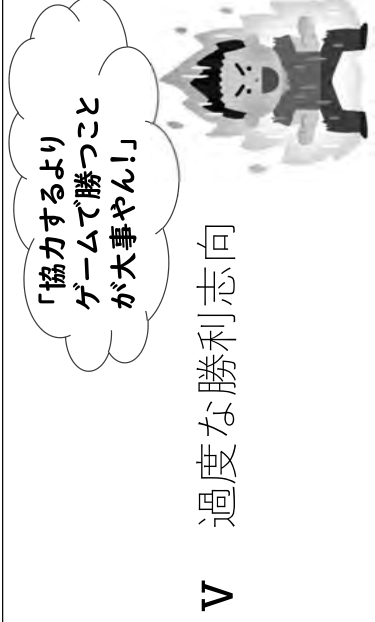
17	体育のゲームで、負けると仲間になんか言われます。
18	体育のゲームで、失敗すると腹を立てる子がいいます。
19	体育の学習で、運動の苦手な人を責める子がいいます。
20	体育の学習で、異性の子から失敗を笑われることがあります。
21	体育の学習で、自分だけ運動ができないことを笑われることがあります。



〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

➤共生体育態度アンケート（4件法）

14	体育のゲームで、勝つことは何よりも大切です。
15	体育のゲームで、どんな方法でも勝てるとうれしいです。
16	体育のゲームで、仲間と協力することより勝てることの方が大事です。



Ⅴ 過度な勝利志向

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



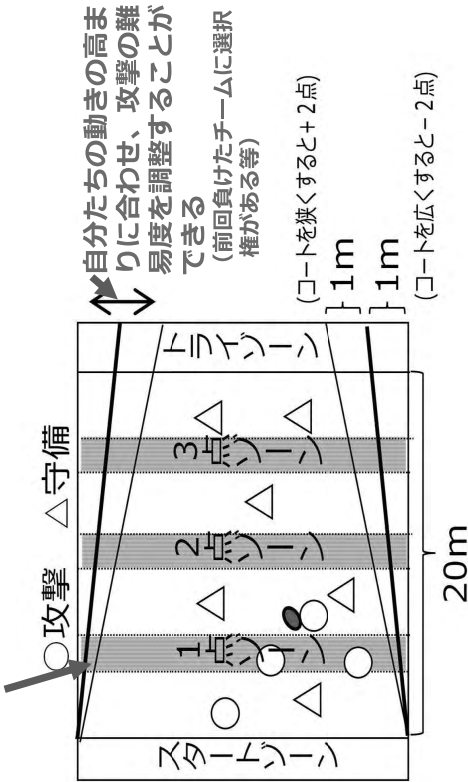
Ⅰ リーダーシップ因子

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【小学校 高学年 ボール運動 ゴール型「タグラグビー」】

▶チーム全員で協力して攻撃し、得点する楽しさを味わうための仕掛け

技能差に関係なく、誰もが安心してボール操作を行うことができる



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

5. 体育の学習で、仲間に自分の意見が言えます。

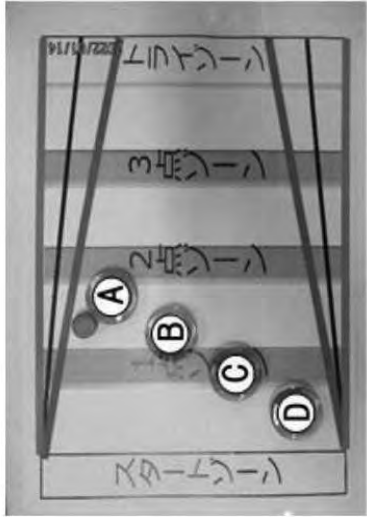


令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【小学校 高学年 ボール運動 ゴール型「タグラグビー」】

▶自分が感じていることや考えていることを仲間に伝えるための仕掛け

一人一人の名前付きのマグネット



「〇〇さんは、
どうして、
2点ゾーンが
いいの？」



チームで互いの意見を
聞き合い、認めようと
する姿が見られた。

自他の考えを可視化できる作戦ボード

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

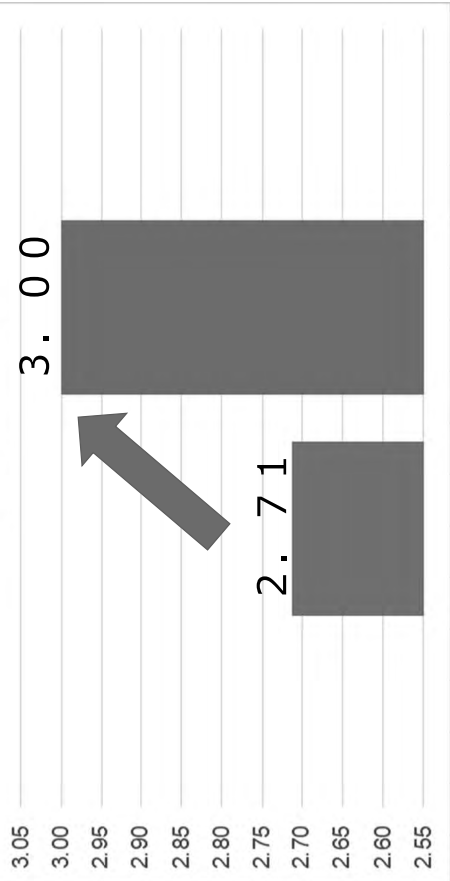
▶共生体育態度アンケート（4件法）

1	体育のゲームで、よく得点できます。
2	体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。
3	体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。
4	体育の学習中、チームで協力して苦手な子をカバーできます。
5	体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。

「体育の授業で、
自分の意見が
言えない…」

I リーダーシップ因子

I リーダーシップ



全体の平均値

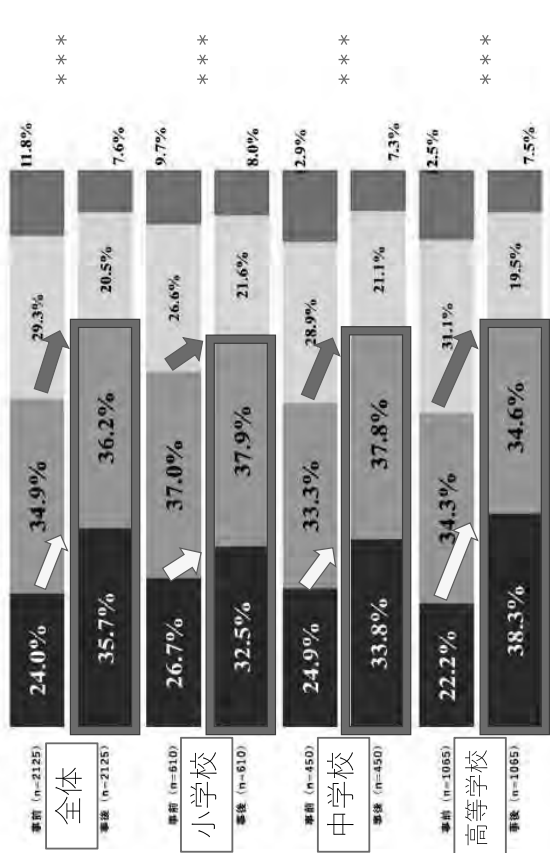
■ 単元前 ■ 単元後

「体の大きい人と運動するのは、ちょっと怖い…」



II ちがいの受容

I リーダーシップ

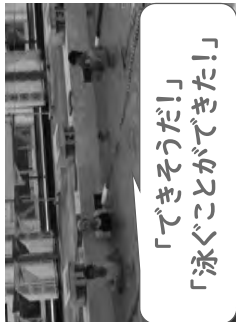
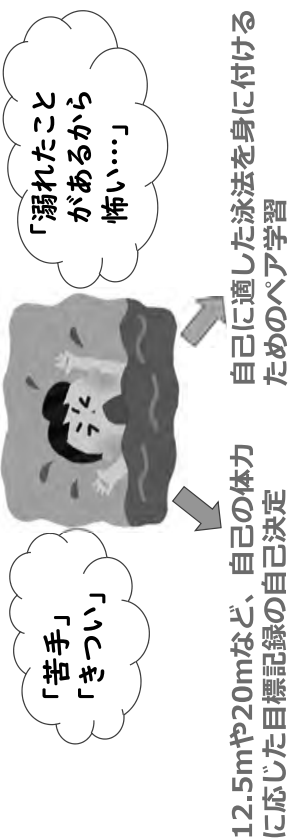


有意水準 * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【高等学校 入学年次 水泳】

➤ 体力や技能の程度に応じて目標を設定し、意欲的に取り組むための仕掛け



「できそうだ!」
「泳ぐことができた!」



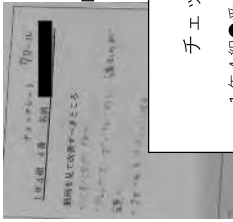
「一緒に課題解決!」
「競争して楽しむ!」

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【高等学校 入学年次 水泳】

➤生徒同士の学び合いを活かすための仕掛け

いつでも視聴できるモデル動画 お互いの成果や課題を伝え合う
チェックシートの活用



クロール
チェックシート

1年4組●番 名前 ●●●●●

動画を見て改善すべきところ

- ・バタバタがない
- ・少ししかこいでいないのに、進むのが速い
- ・フォームをきれいにしている

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

➤共生体育態度アンケート（4件法）

6	体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです。
7	体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。
8	体育の学習で、体格のちがう子と協力できるとうれしいです。
9	体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。
10	体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。

「体の大きい人と
運動するのは、
ちょっと怖い…」

Ⅱ ちがいの受容

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

7 体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。

■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえばいい ■いいえ



【資料5】体育の学習に関する生徒アンケートの結果】

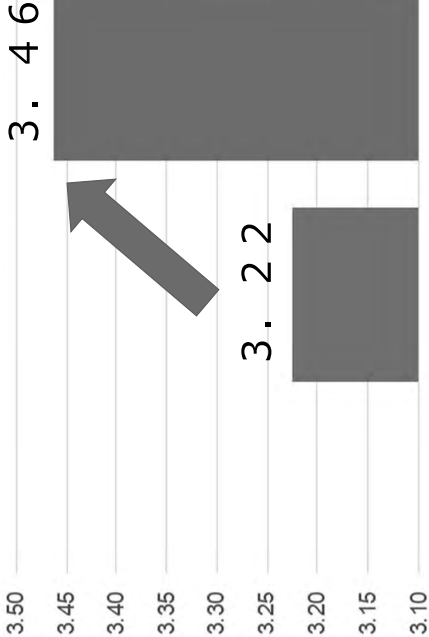
9 体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。

■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえばいい ■いいえ



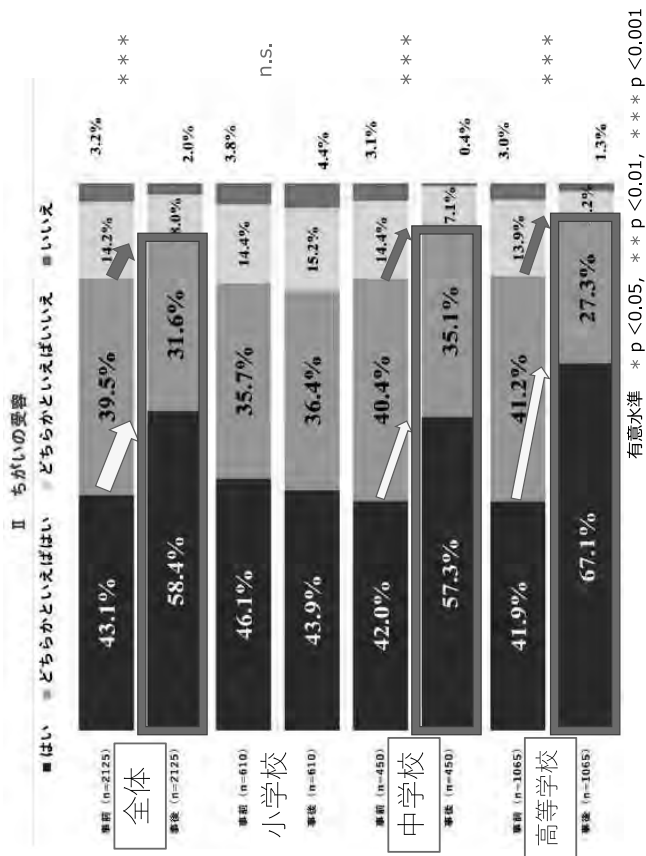
【資料6】体育の学習に関する生徒アンケートの結果】

Ⅱ ちがいの受容



全体の平均値

■ 単元前 ■ 単元後



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【中学校 第3学年 陸上競技「走り幅跳び」】

➤個人の運動をみんなで楽しむための仕掛け



個人の記録を点数化しグループで競う、個人的運動の集団化

3. オールで協力して記録を目標とする。

グループ

○記録表(得点表)

得点	10	9	8	7	6
目標との差	41cm以上	31~40cm	21~30cm	11~20cm	0~10cm
得点	5	4	3	2	1
目標との差	-1~10cm	-11~20cm	-21~30cm	-31~40cm	-41cm以下

グループの目標は記録表の
目標記録との差が数になるよ！

【資料1 個人記録の得点表】

記録表 記録記録表

氏名	記録	得点	差	差ポイント
高橋	3m 110cm	3m 110cm	+1	6
山田	3m 100cm	3m 100cm	+2	6
佐藤	3m 31cm	3m 31cm	-25	2
鈴木	2m 48cm	2m 52cm	-17	4
田中	3m 34cm	3m 19cm	-40	2

【資料2 記録表】



IV 失敗への排斥

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

➤特別な支援を要する生徒、体力差や技能差のある生徒の学びを活発にするための仕掛け

技能を平均化した男女混合のグループ・役割分担の明確化
(立ち幅跳びの記録や体力の実態、運動経験を考慮して)



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

▶特別な支援を要する生徒、体力差や技能差のある生徒の学びを活発にするための仕掛け

跳躍動作を学ぶための知識構成型ジグソー法を用いた課題解決（課題解決に向けた「調べる・まとめる・実践する」の活動）



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

▶共生体育態度アンケート（4件法）

11	体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。
12	体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。
13	体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。

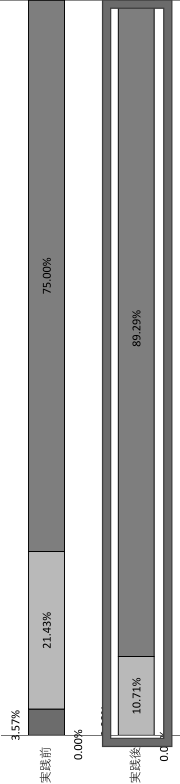
IV 失敗への排斥

「体育の授業で、失敗すると笑われる…」

令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

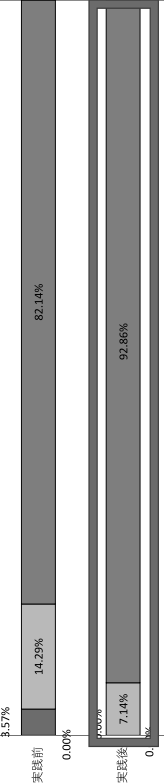
12 体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。

■ はい ■ どちらかといえばはい ■ どちらかといえばいい ■ いいえ

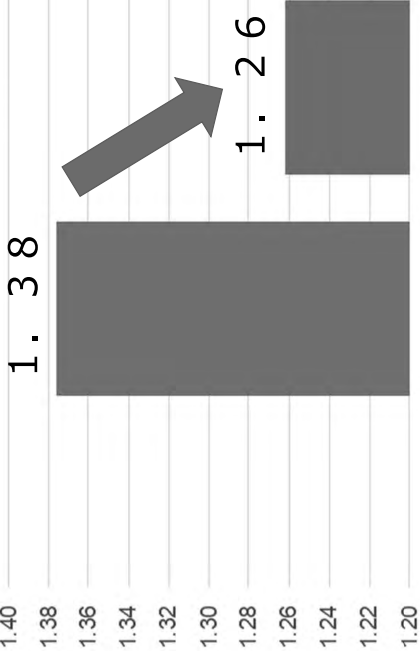


13 体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。

■ はい ■ どちらかといえばはい ■ どちらかといえばいい ■ いいえ



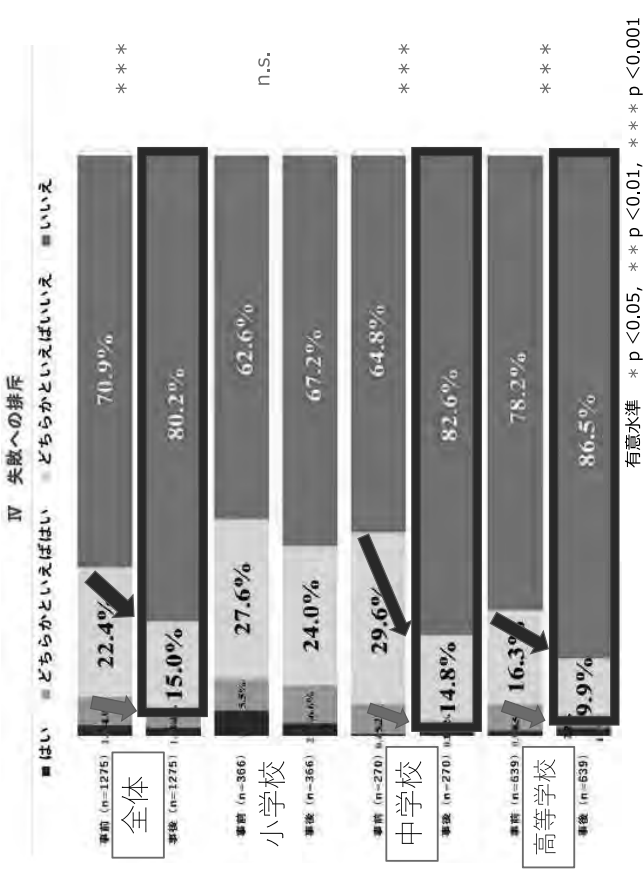
IV 失敗への排斥



全体の平均値

■ 単元前 ■ 単元後

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



V 過度な勝利志向



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【小学校 第6学年 ボール運動「ベースボール型」】

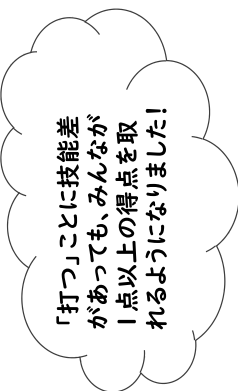
➢ 技能差や障がいの有無にかかわらず、協力して運動を楽しむための仕掛け

誰もが得点することができる
 ルールの工夫

- * 走者は、各ベース上にいる仲間と必ずタッチ！（仲間とのかかわり）
- * 得点は、走者の進塁した数



打者と走者の役割を分けた攻撃の様子



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

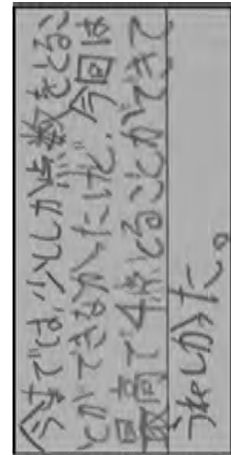
【小学校 第6学年 ボール運動「ベースボール型」】

➢ 技能差や障がいの有無にかかわらず、協力して運動を楽しむための仕掛け

守備を楽しむことができる工夫

* アウトゾーン（フラフープ）の設定

→ チーム内で、どこで守備をしたらいいのか、作戦を話し合うようになった。



防球ネットを使ったA児の守備の様子

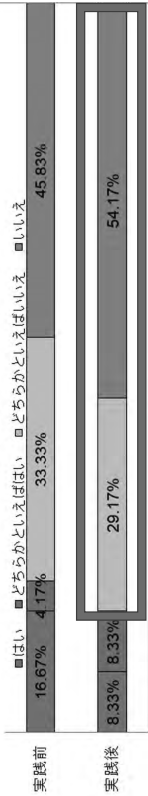


実践後のA児の振り回り

➤共生体育態度アンケート（4件法）

14	体育のゲームで、勝つことは何よりも大切です。
15	体育のゲームで、どんな方法でも勝てるとうれしいです。
16	体育のゲームで、仲間と協力することより勝てることの方が大事です。

16 体育のゲームで、仲間と協力することより、勝てることの方が大事です。

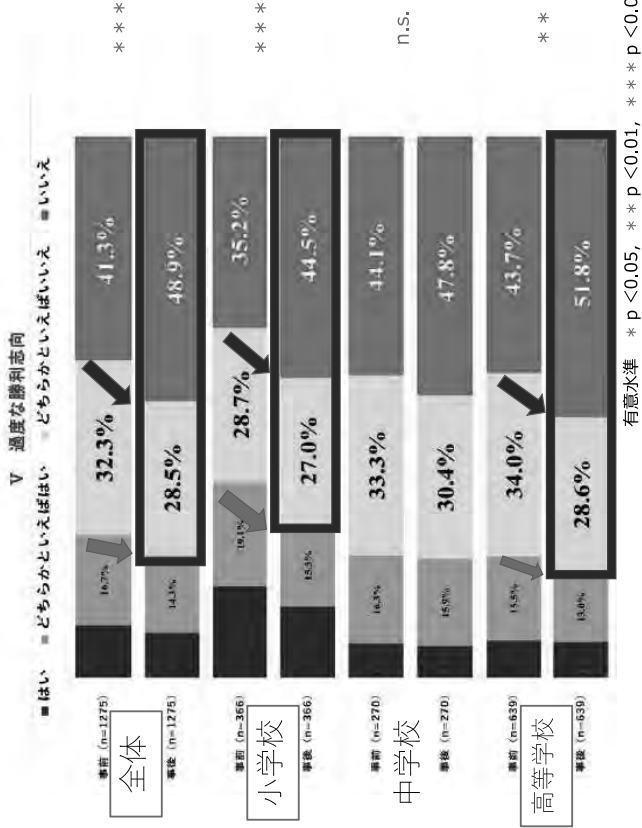
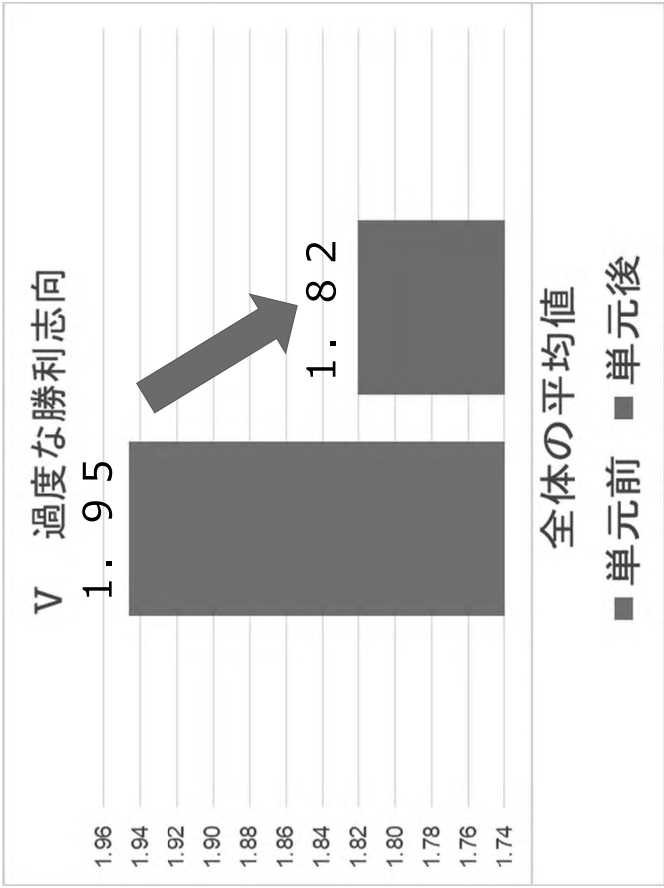


「協力するより
ゲームで勝つこと
が大事なん!」



V 過度な勝利志向

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



【中学校 第1学年 球技「ゴール型 フットサル」】

➢性別や技能差にかかわらず、みんなが意欲的に球技を楽しむための仕掛け

個人やチームの技能に合わせた練習の選択やルールの工夫

片足ジャンプでライン突破ゲーム 片足でマーカー早く集めるゲーム 敵からボールを守れ!ゲーム



「楽しいこと」

「みんなができること（平等に）」

「心と体が温まること」

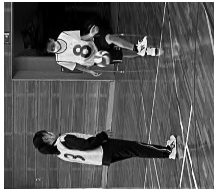
「基本技能につながる動きであること」

【中学校 第1学年 球技「ゴール型 フットサル」】

➢性別や技能差にかかわらず、みんなが意欲的に球技を楽しむための仕掛け

個人やチームの技能に合わせた練習の選択やルールの工夫

基本技能の教え合い



3対1のゲームで、
ボールを持たないとき
の動きの教え合い



様々な選択肢やルールの工夫

- ・攻撃側がゴールの大きさを選択できる。
(コーン2本分、3本分、4本分)
- ・攻撃側が守備の人数を選択できる。
(バスケットボールコートの大きさで
3対1のゲームの場合、相手守備者を
1～3人から選択)
- ・多くの生徒がボールに触れるように、
攻撃側のパスの回数を設定する。



排除雰囲気



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

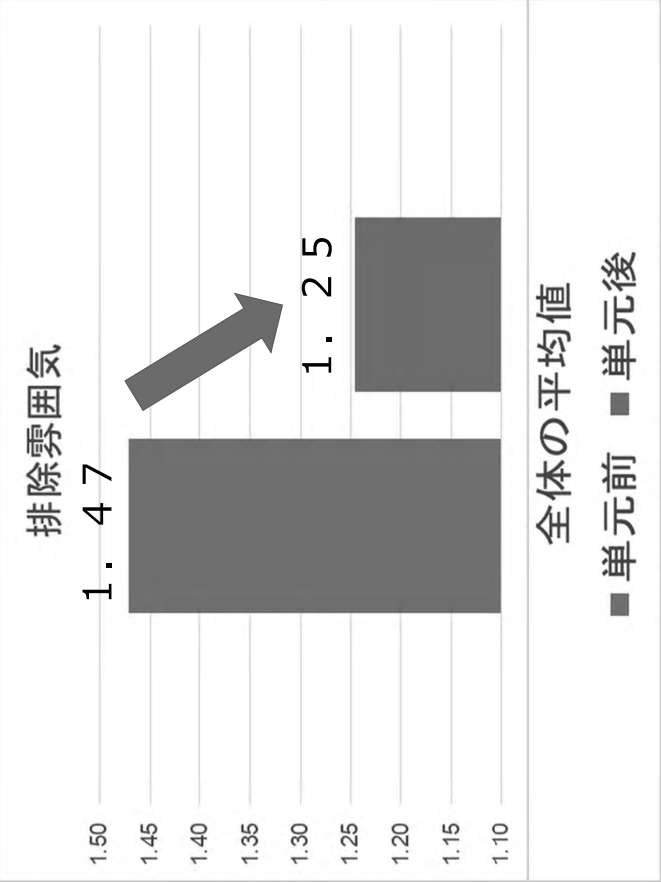
共生体育態度アンケート（4件法）

17	体育のゲームで、負けると仲間と文句を言われます。
18	体育のゲームで、失敗すると腹を立てる子がいます。
19	体育の学習で、運動の苦手な人を責める子がいます。
20	体育の学習で、異性の子から失敗を笑われることがあります。
21	体育の学習で、自分だけ運動ができないことを笑われることがあります。

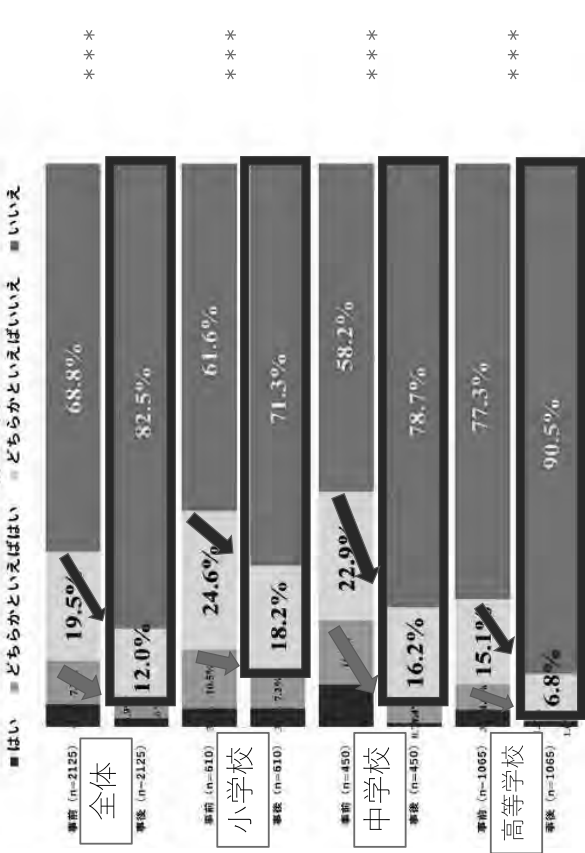
「〇〇さんと
同じチームだと
負けるやん…」

排除雰囲気

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



排除雰囲気



令和4年度の授業実践【児童生徒の実態を踏まえた実践】

【特別支援学校 高等部第3学年 球技「ゴール型 ハンドボール」】

- 一人一人の実態に応じた、みんなが運動の楽しさに触れるための仕掛け
- 個人やチームの課題を見つけ、みんなで共有する活動の工夫
- 学習過程の見通しを持たせ、ポイントの提示や声かけの工夫

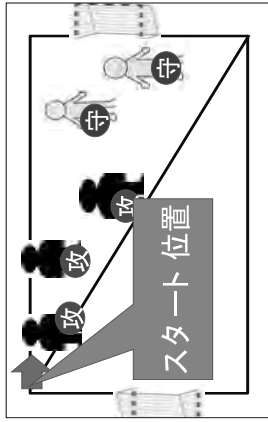


- 自己評価表を使って課題を見つける。
- 動画を見て、チームの課題を共有する。

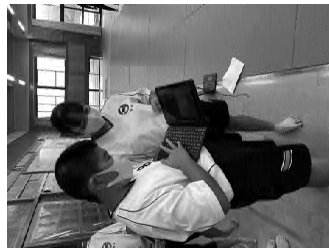


- 説明は短く、ポイントを絞って声かける。
- モデリングは良い動きと課題のある動きを対比して示す。

【特別支援学校 高等部第3学年 球技「ゴール型 ハンドボール」】
一人一人の実態に応じた、みんなが運動の楽しさに触れるための仕掛け
ねらいに応じたゲームや場の設定、ルールの工夫



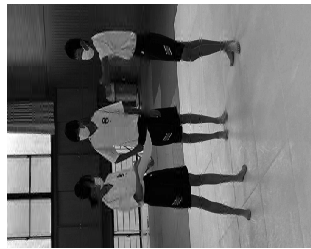
- ・みんながゴールをねらって攻防を楽しめるように、パスをつなぐ。(ドリブルなし)
- ・技能差に応じて、攻守の人数やゴールやコートの広さを変える。



Q. 実践を通して、生徒たちのその後に何か変化はありましたか？

A. 「はい、男女の仲が深まったように感じます。学級担任の先生も同じように感じていると言われていました。」

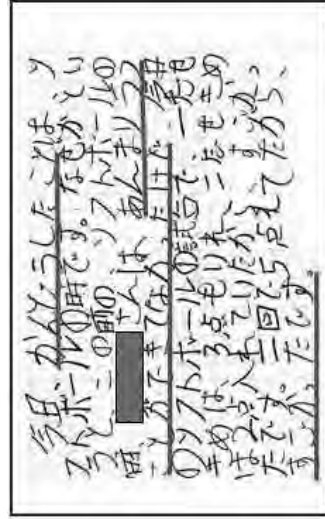
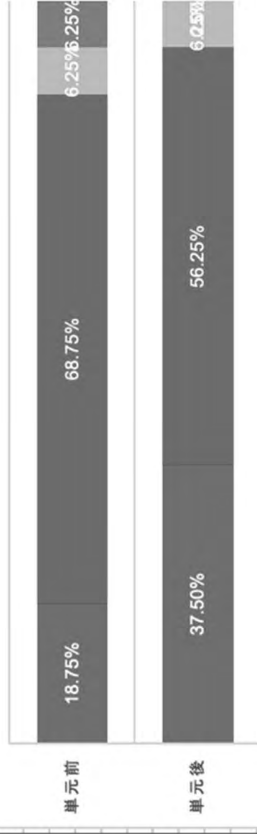
学級の雰囲気が変わったと、
周りの先生も実感



今回自分が相手の前に行ったり攻めたりする事も頑張ります。
パスも出せて少し近くにボールが来て取ろうとしたら
なかなか取れなかったのでも、ボールも取れるように頑張ります。
自分から積極的に動く事が出来た喜びがあったです。

5楽しかったですか。

- 1 「はい」 ■ 2 どちらかといえば「はい」
- 3 どちらかといえば「いいえ」 ■ 4 「いいえ」



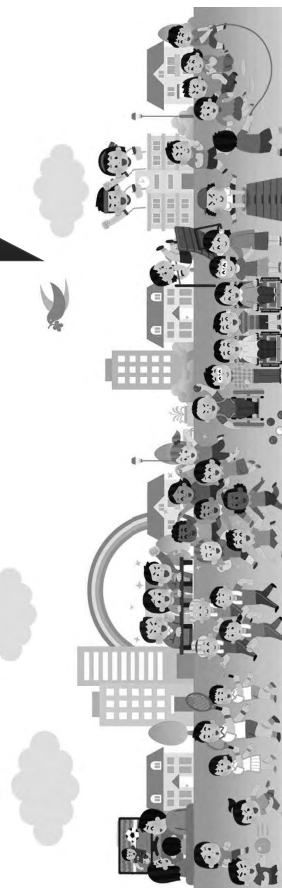
体育が好きで意欲的
だけど、自尊感情が
低かったA児。今では、
体育の学習だけでなく、
いろいろな場面で、
相手の良さを認める
言葉かけができるよ
うになりました。



これからの「共生を基盤とした体育の授業づくり」

➤小～高までの「共生」のつながり

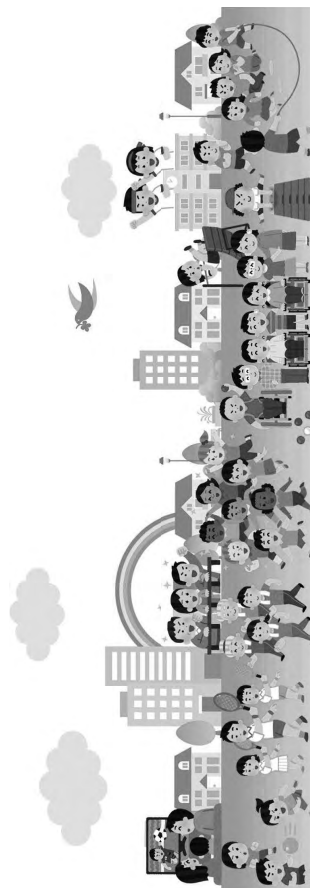
小3.4	小5.6	中1.2	中3～高3	共生社会 豊かな スポーツ ライフ
友だちを 認める	仲間を 認める	一人一人 の違いを 認める	一人一人の 違いを 大切に する	



令和4年度福岡県体育・スポーツ研修報告会「福岡県体育研究所 調査研究事業」

遠慮はしない。

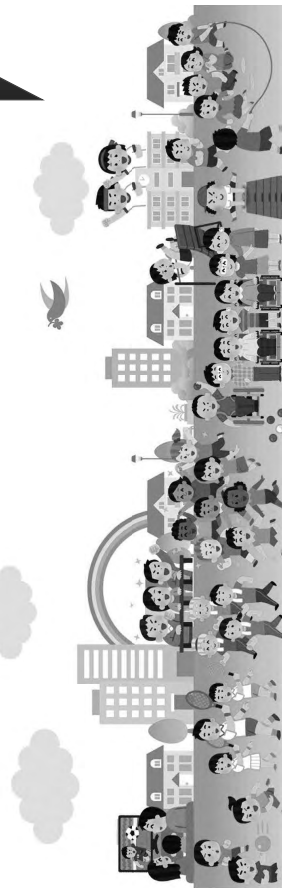
配慮はしよう。



これからの「共生を基盤とした体育の授業づくり」

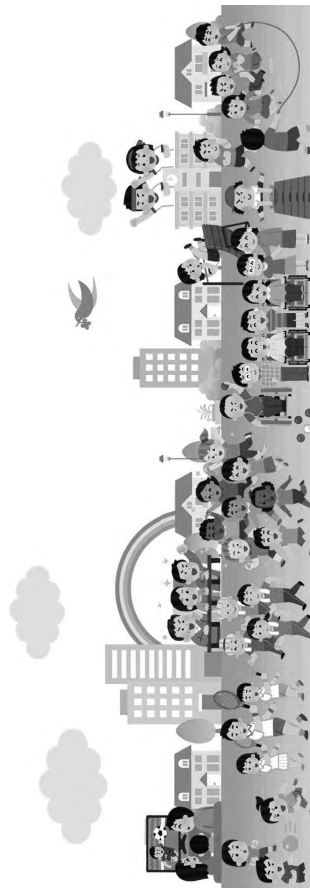
➤小～高までの「共生」のつながり

子供たちを、共生社会や豊かなスポーツライフに導いていくために、各校種の先生方で、着実にバトンを「つないで」いきましょう！



令和4年度福岡県体育・スポーツ研修報告会
く 調 査 研 究 事 業 報 告 〉

福岡県体育研究所 令和2・3・4年度調査研究事業
「共生を基盤とした体育の授業づくり」



体育の学習に関する生徒アンケート I

【中学校の例】

年 組 番 氏 名

中学校の体育学習を通して、生徒のみなさんが思っていること、感じていることを率直にお答えください。（アンケートの回答内容を他の生徒に見せることは決してありません。）

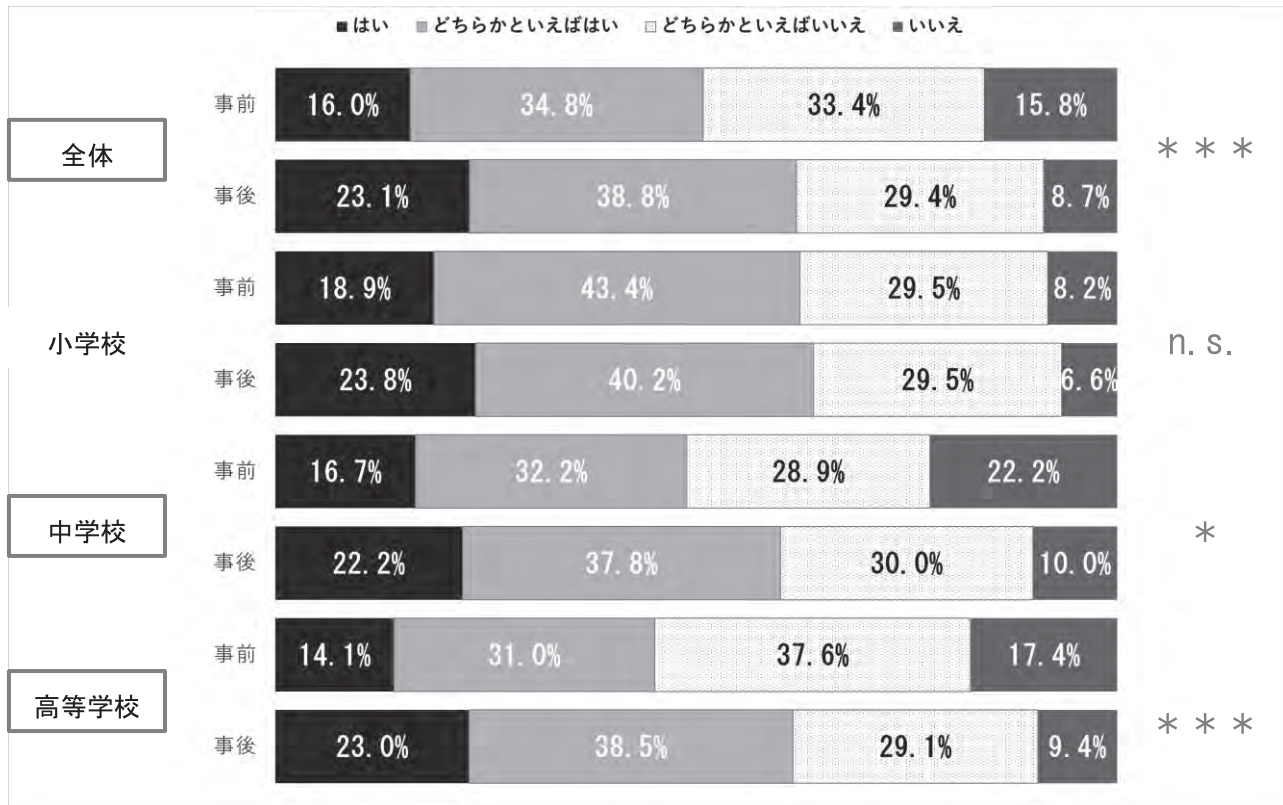
質 問	4 はい	3 どちらか といえば はい	2 どちらか といえば いいえ	1 いいえ
1.体育のゲームで、よく得点できます。	4	3	2	1
2.体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。	4	3	2	1
3.体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。	4	3	2	1
4.体育の学習中、チームで協力して苦手な子をカバーできます。	4	3	2	1
5.体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。	4	3	2	1
6.体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです。	4	3	2	1
7.体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。	4	3	2	1
8.体育の学習で、体格のちがう子と協力できるとうれいします。	4	3	2	1
9.体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。	4	3	2	1
10.体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。	4	3	2	1
11.体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。	4	3	2	1
12.体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。	4	3	2	1
13.体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。	4	3	2	1
14.体育のゲームで、勝つことは何よりも大切です。	4	3	2	1
15.体育のゲームで、どんな方法でも勝てるとうれいします。	4	3	2	1
16.体育のゲームで、仲間と協力することより、勝てることの方が大切です。	4	3	2	1
17.体育のゲームで、負けると仲間に文句を言われます。	4	3	2	1
18.体育のゲームで、失敗すると腹を立てる子がいます。	4	3	2	1
19.体育の学習で、運動の苦手な人を責める子がいます。	4	3	2	1
20.体育の学習で、異性の子から失敗を笑われることがあります。	4	3	2	1
21.体育の学習で、自分だけ運動ができないことを笑われることがあります。	4	3	2	1

〈引用・参考文献〉梅澤秋久（2021）共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発

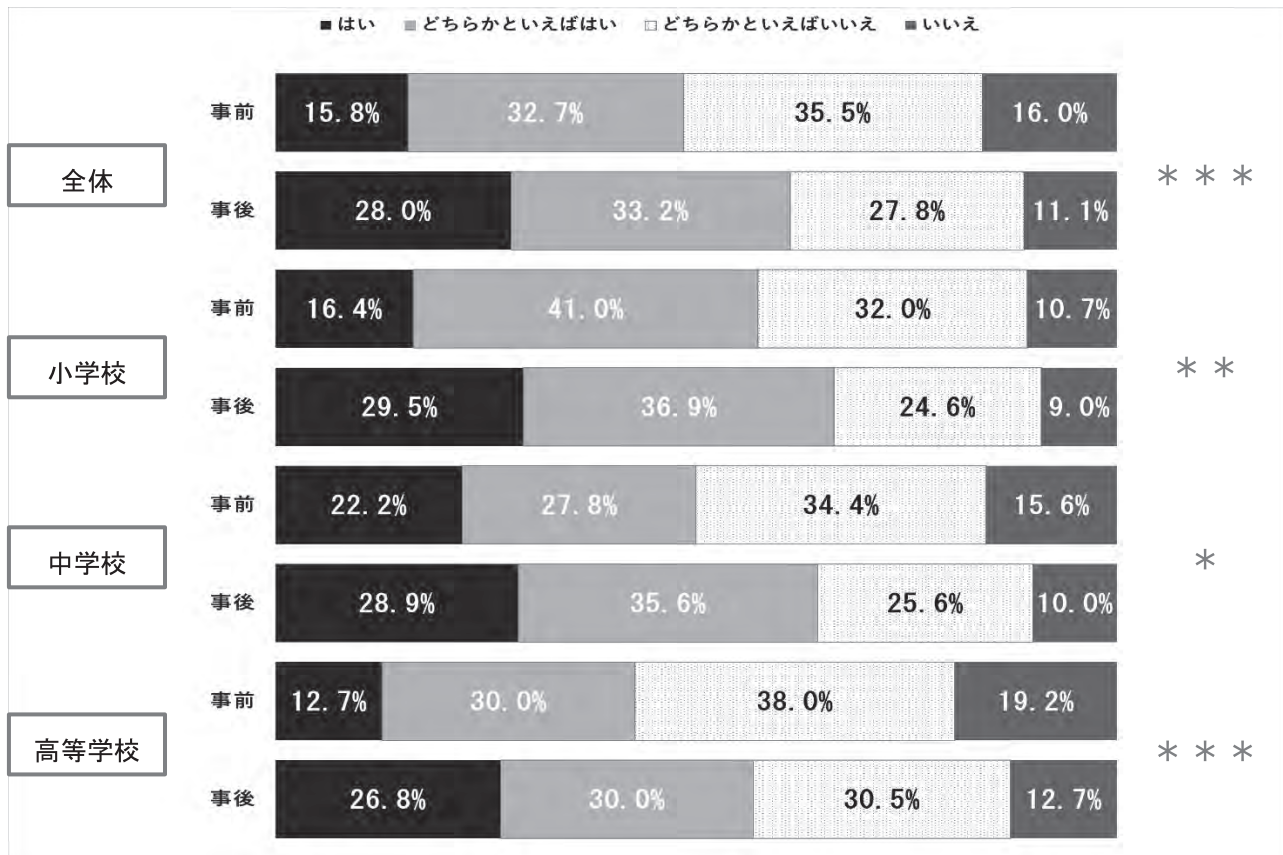
各 質 問 項 目 に つ い て

(小学校 n=122、中学校 n=90、高等学校 n=213) 有意水準 * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

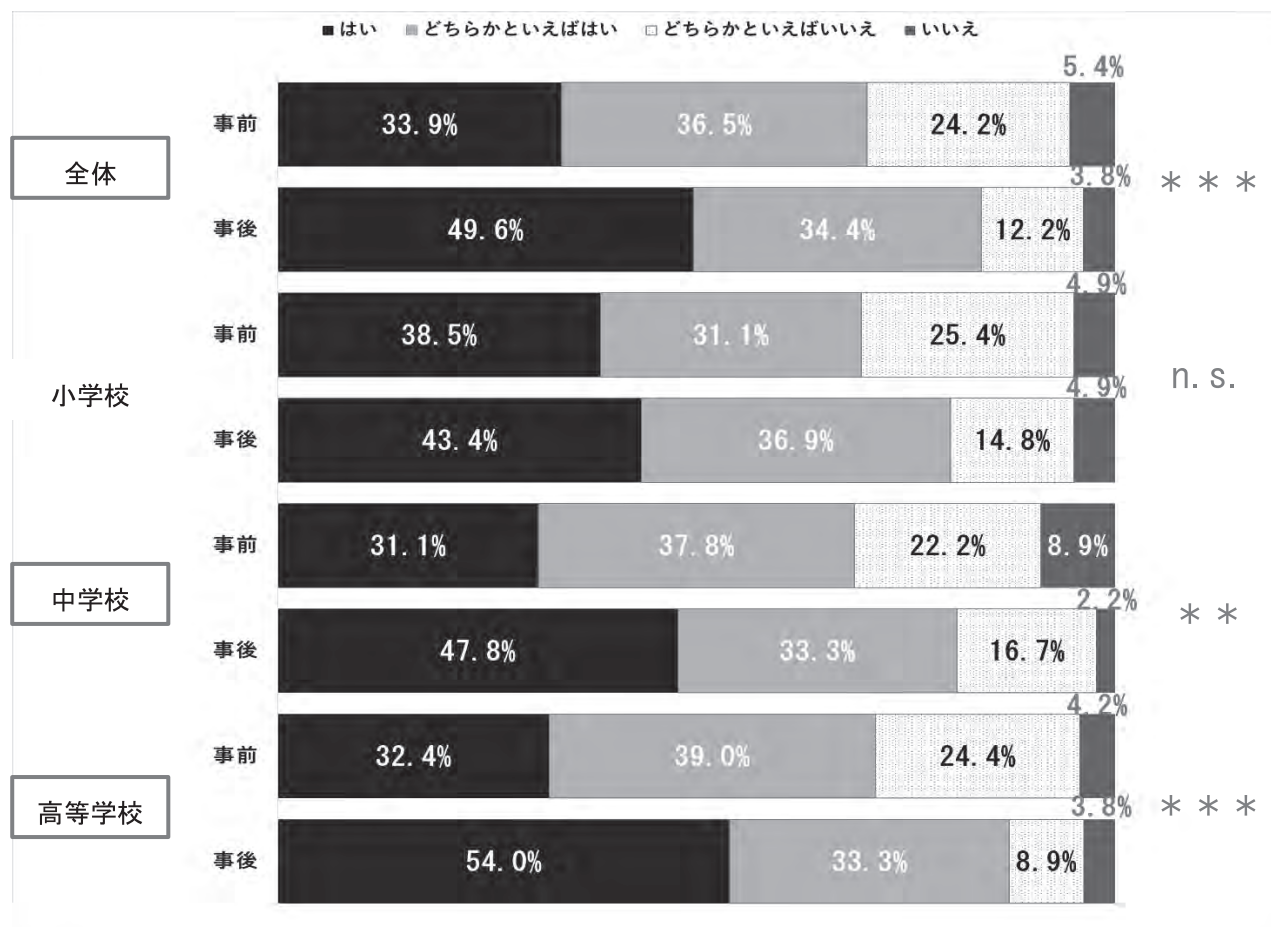
1. 体育のゲームで、よく得点できます。



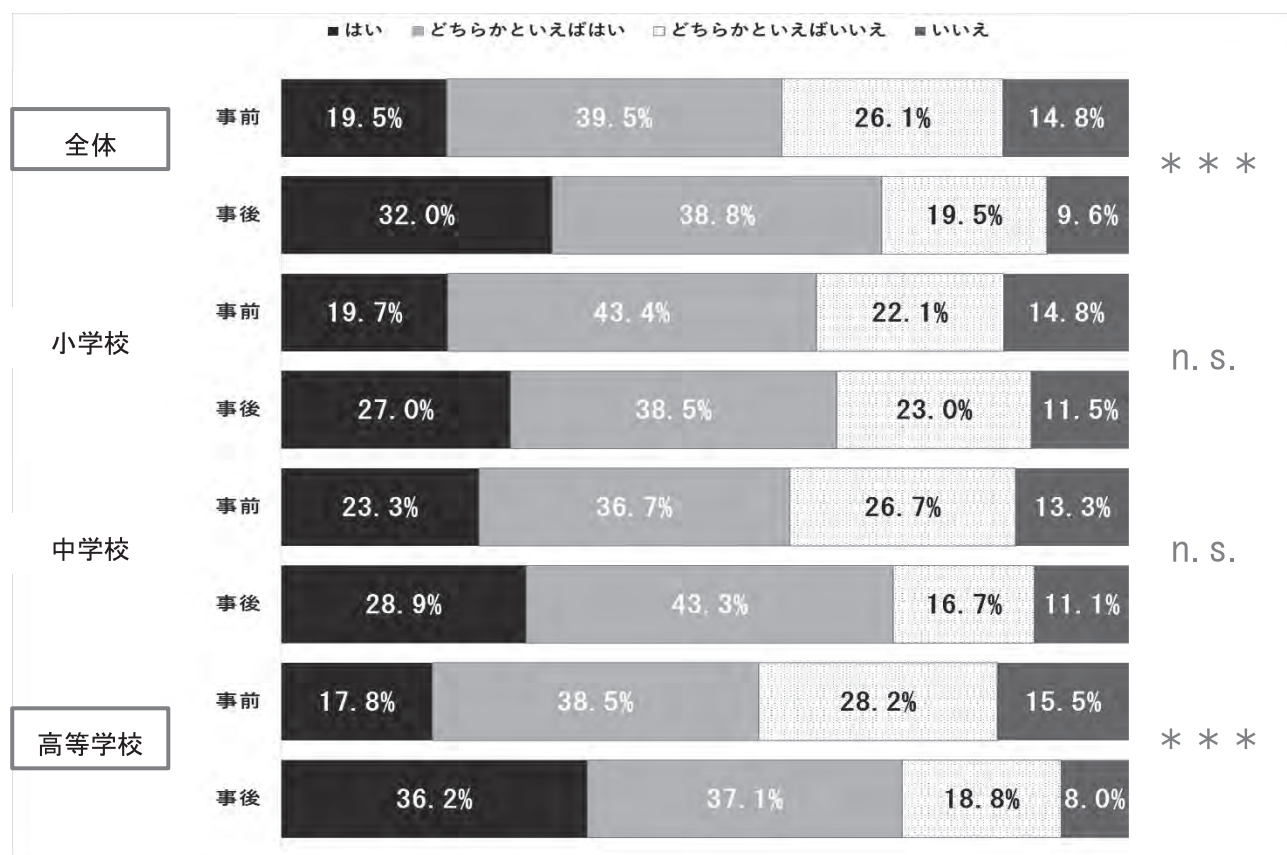
2. 体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。



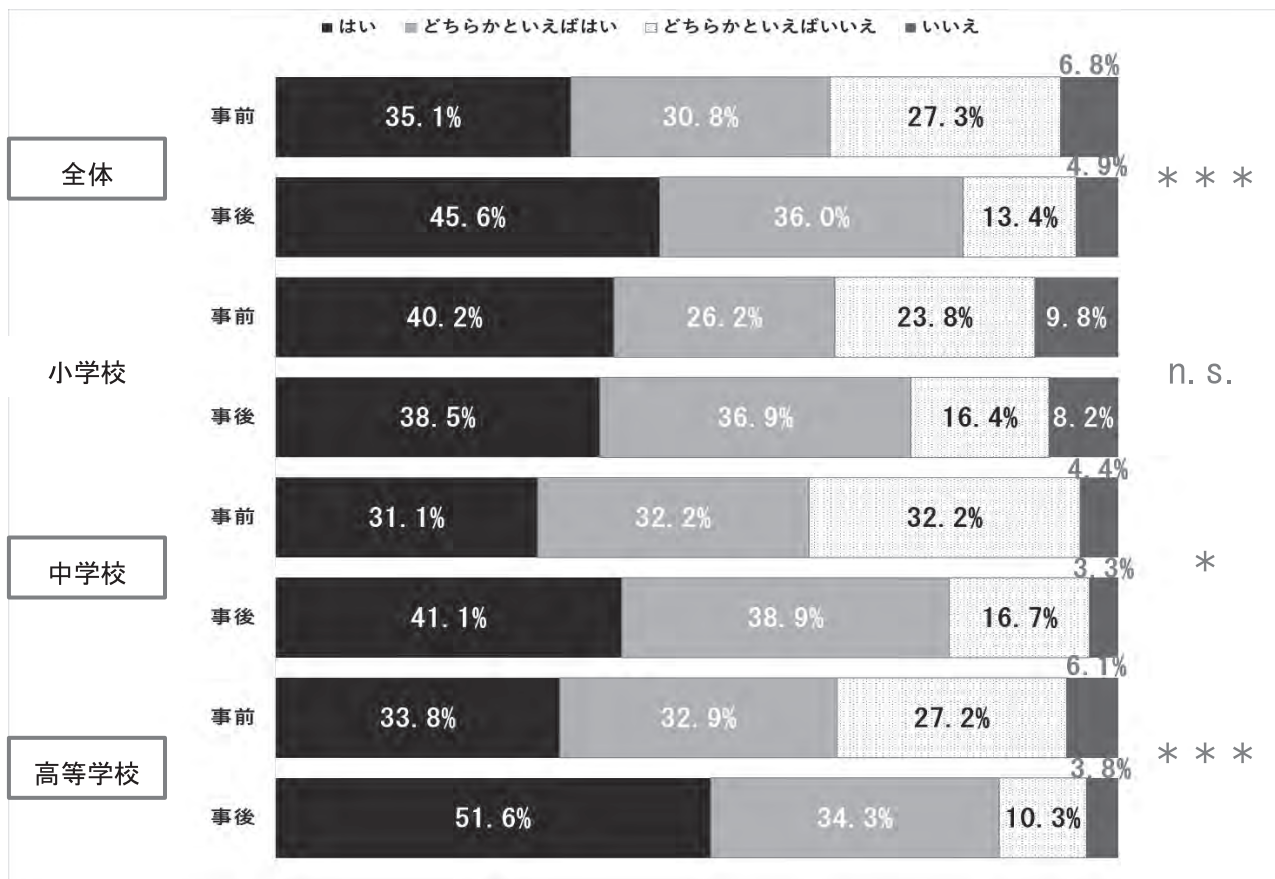
3. 体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。



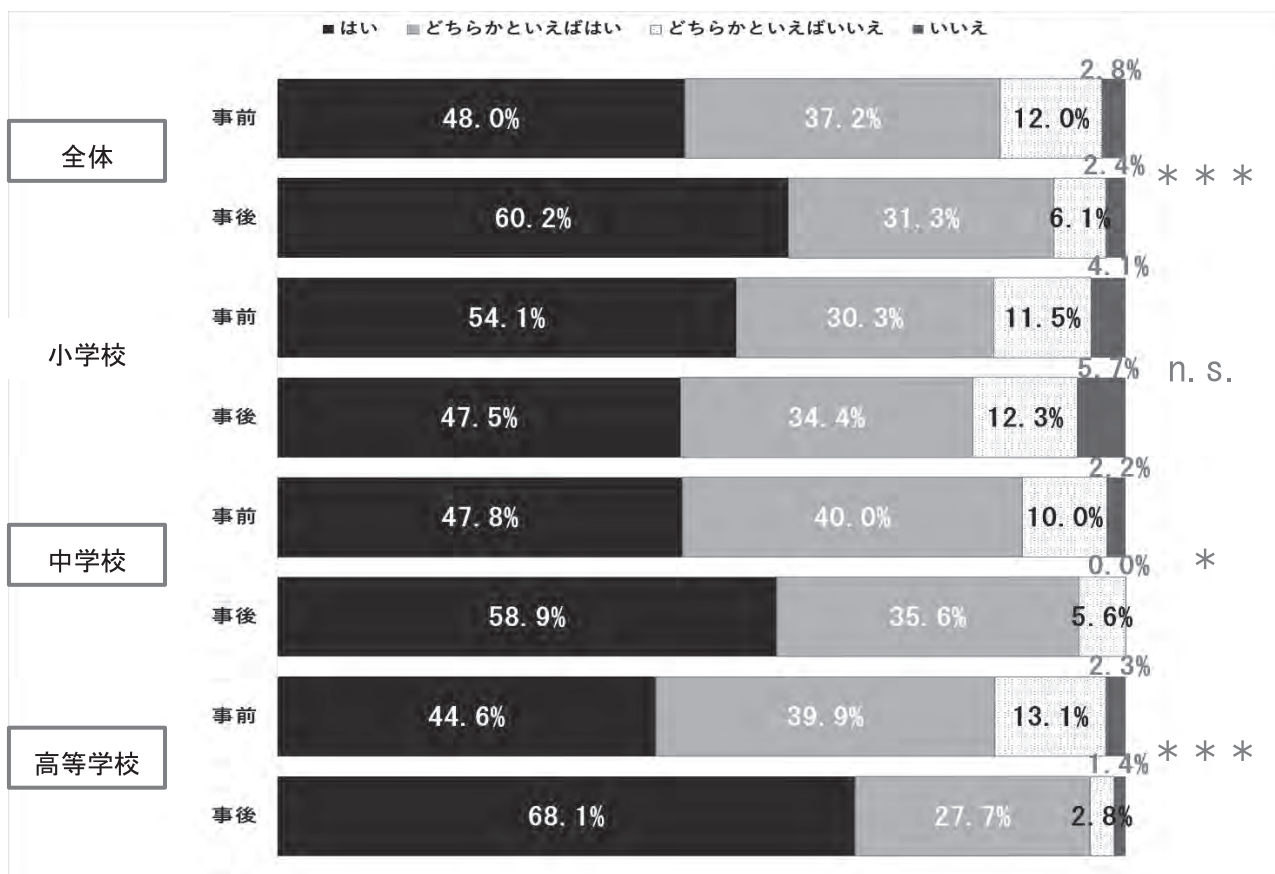
4. 体育の学習中、チームで協力して苦手な子をカバーできます。



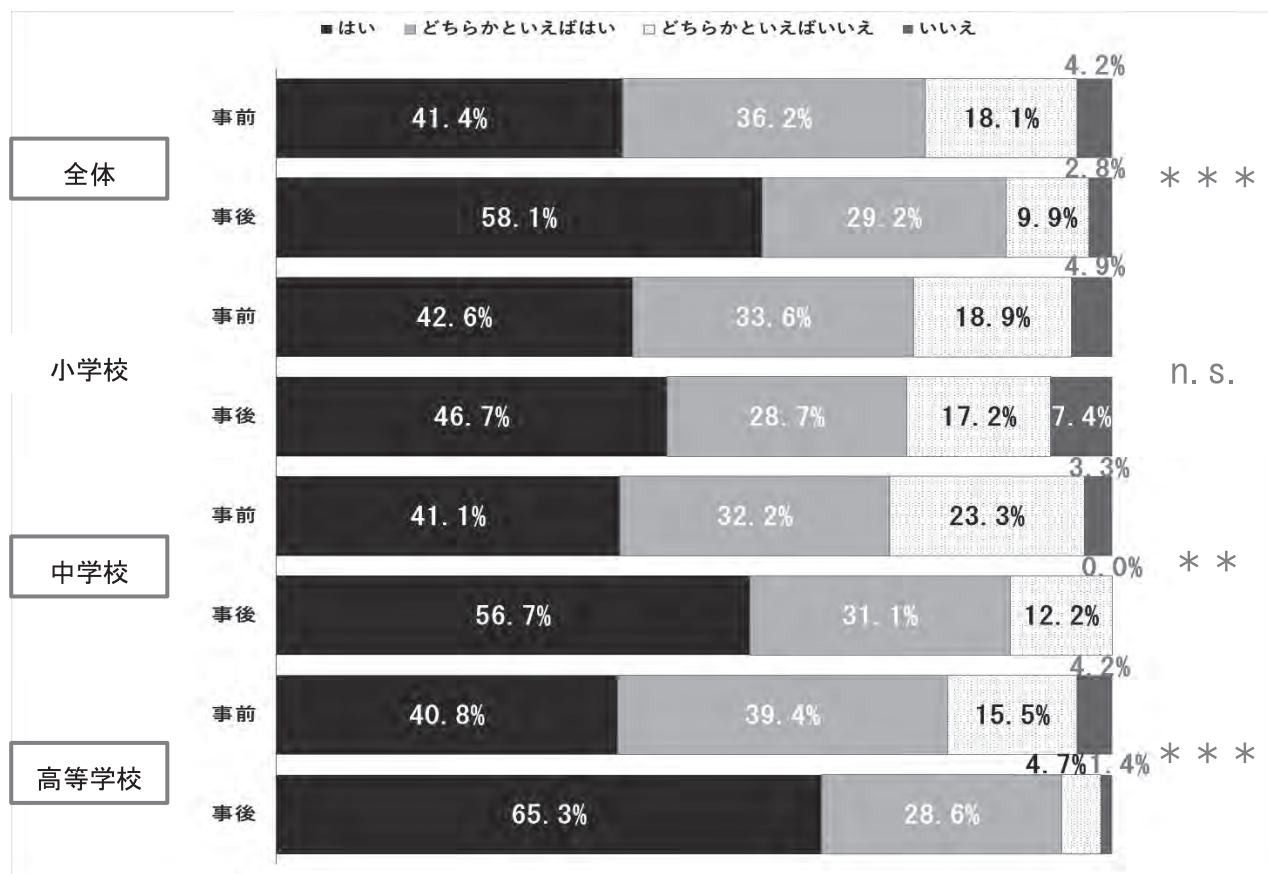
5. 体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。



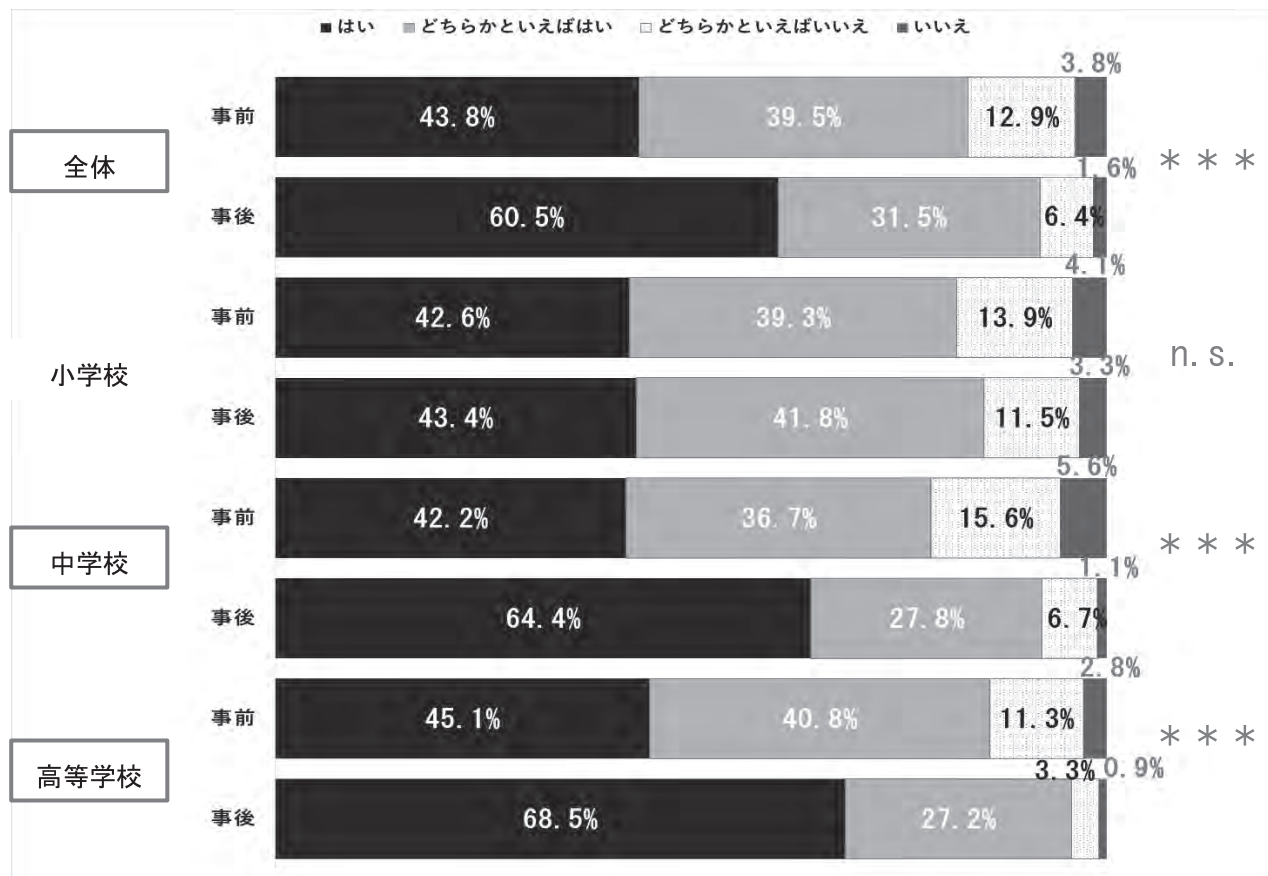
6. 体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです



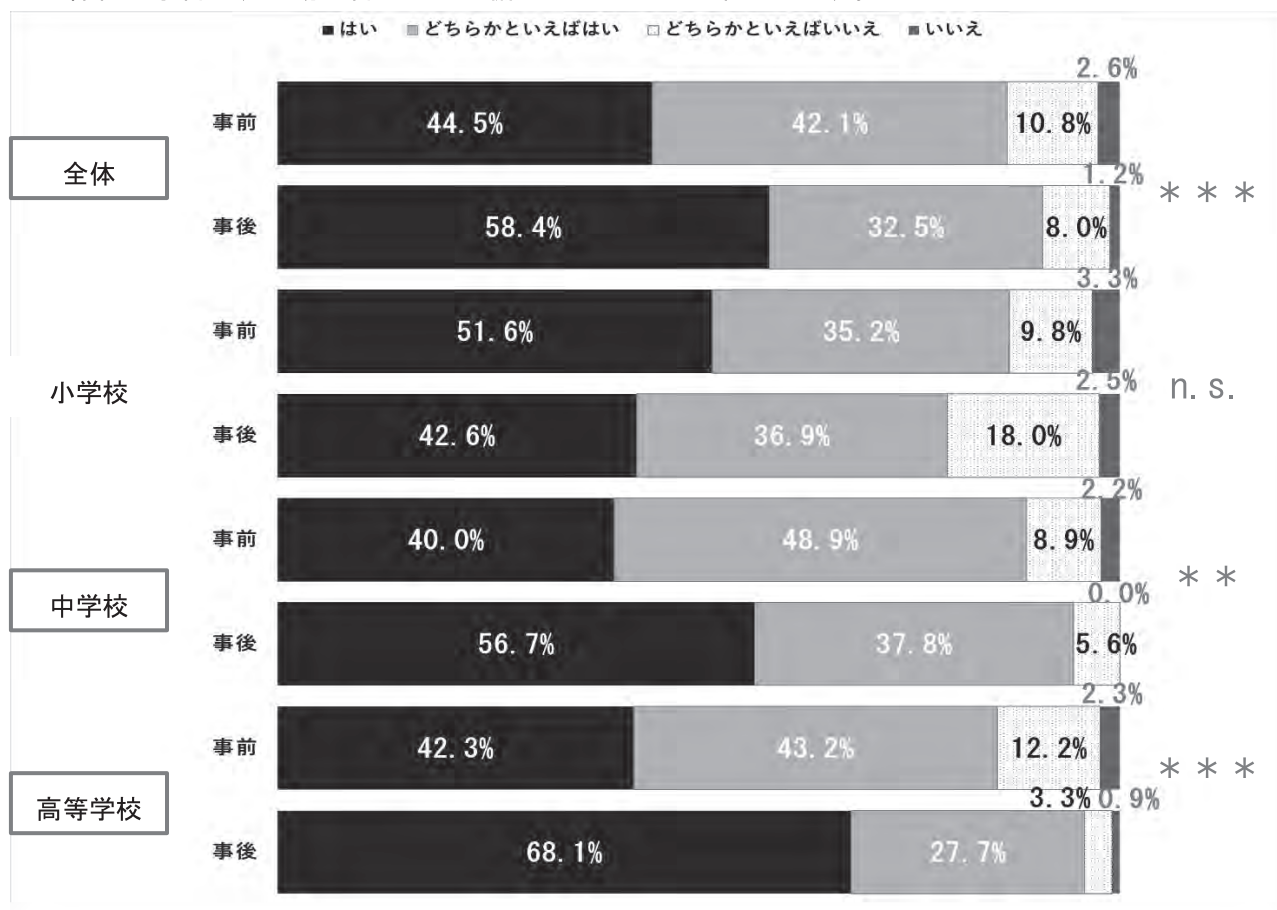
7. 体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。



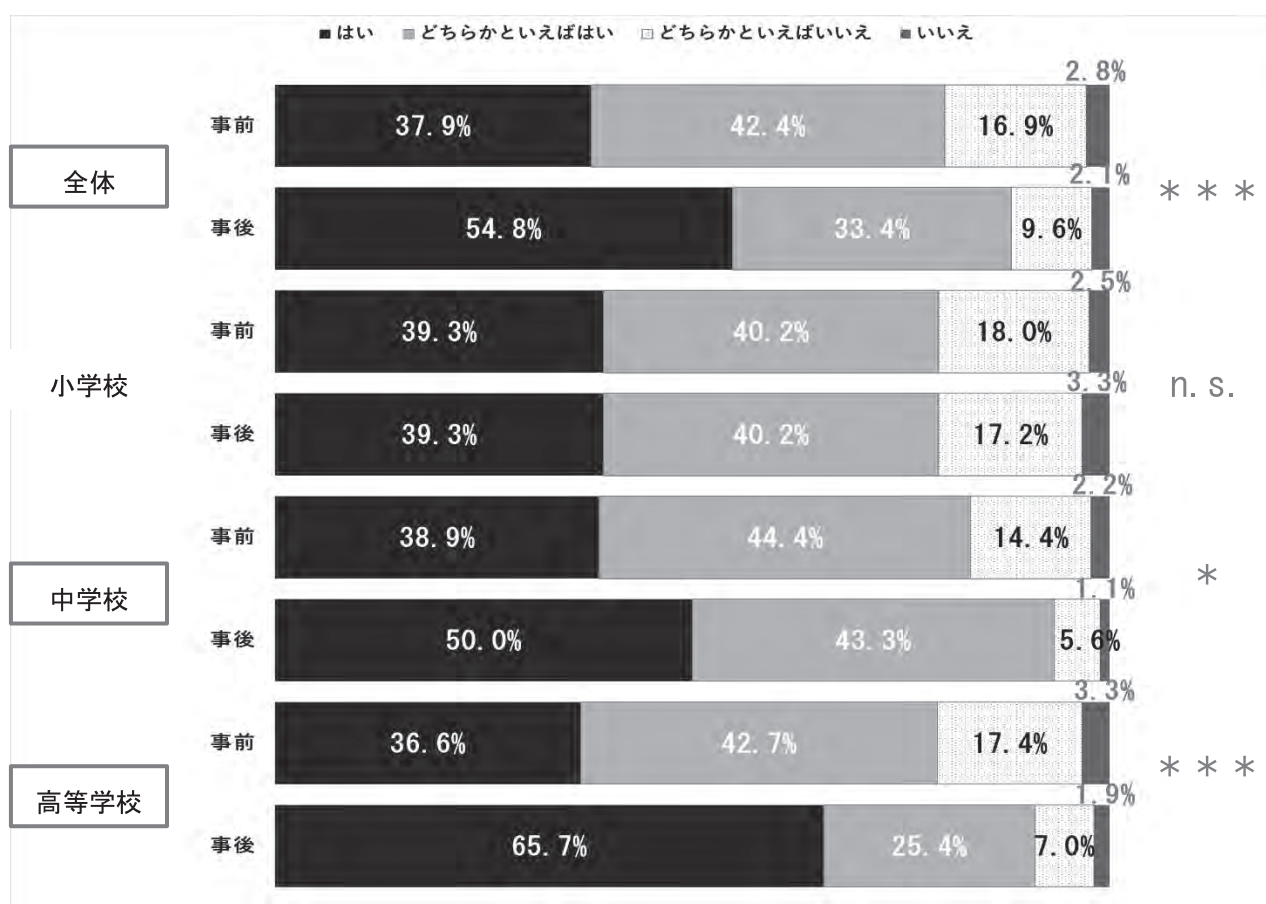
8. 体育の学習で、体格のちがう子と協力できると楽しいです。



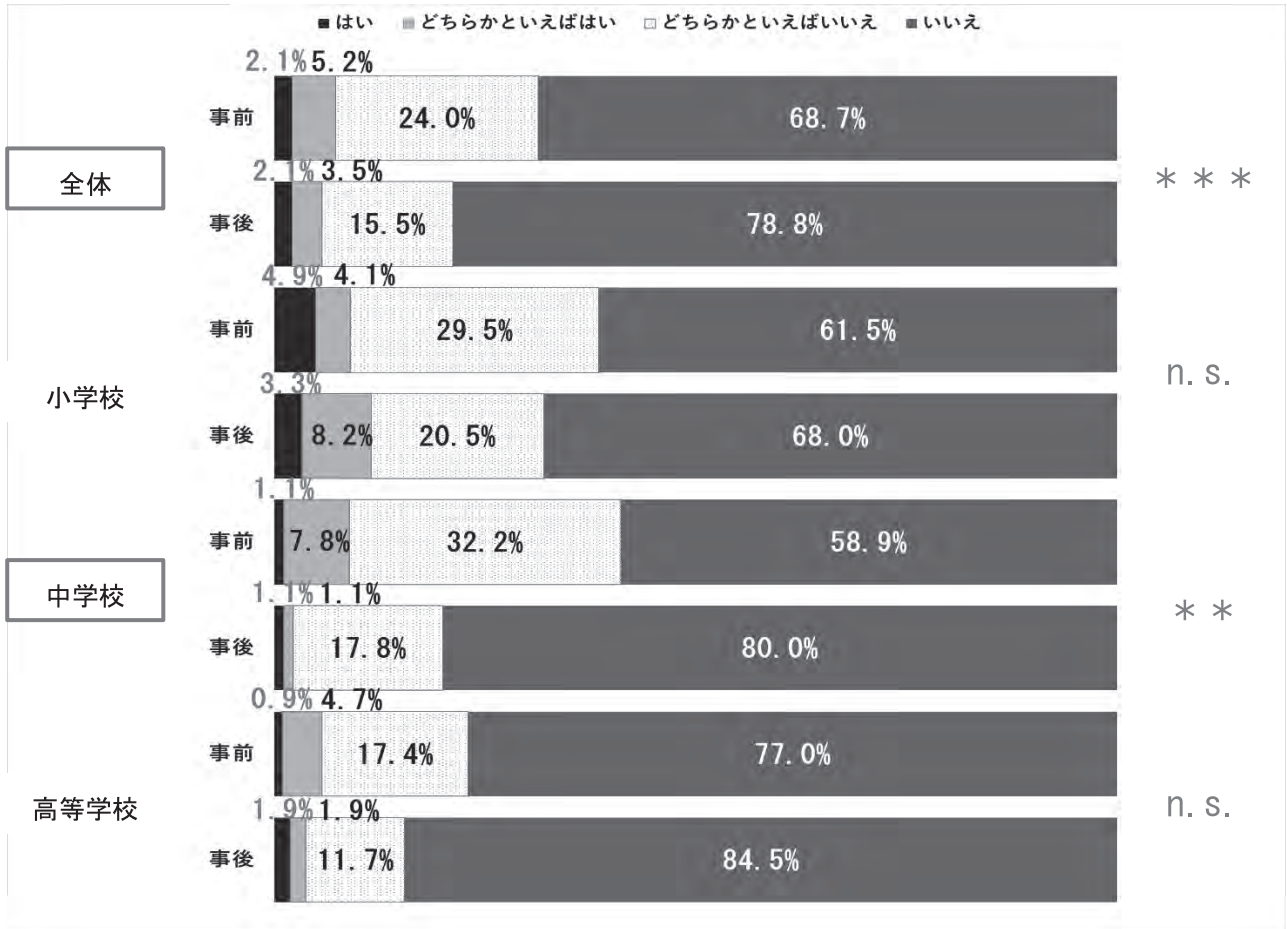
9. 体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。



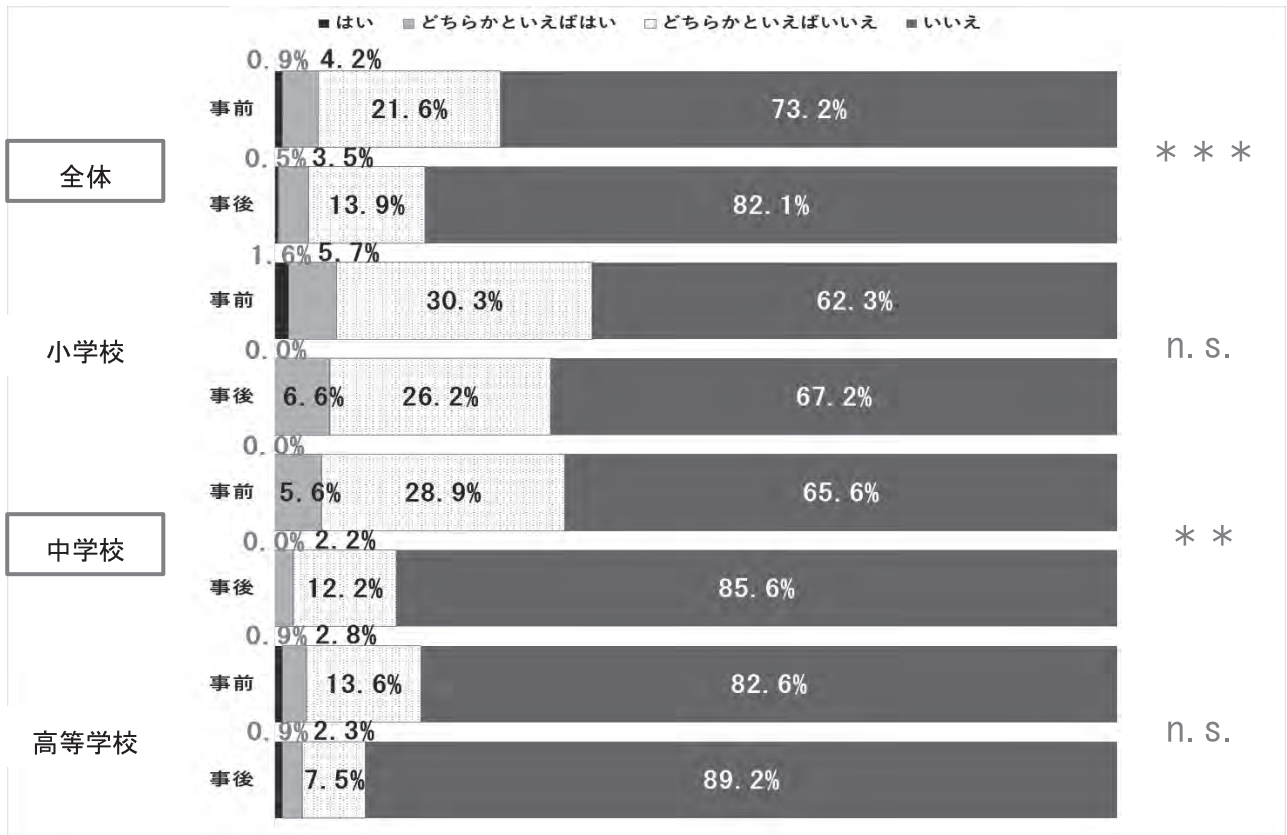
10. 体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。



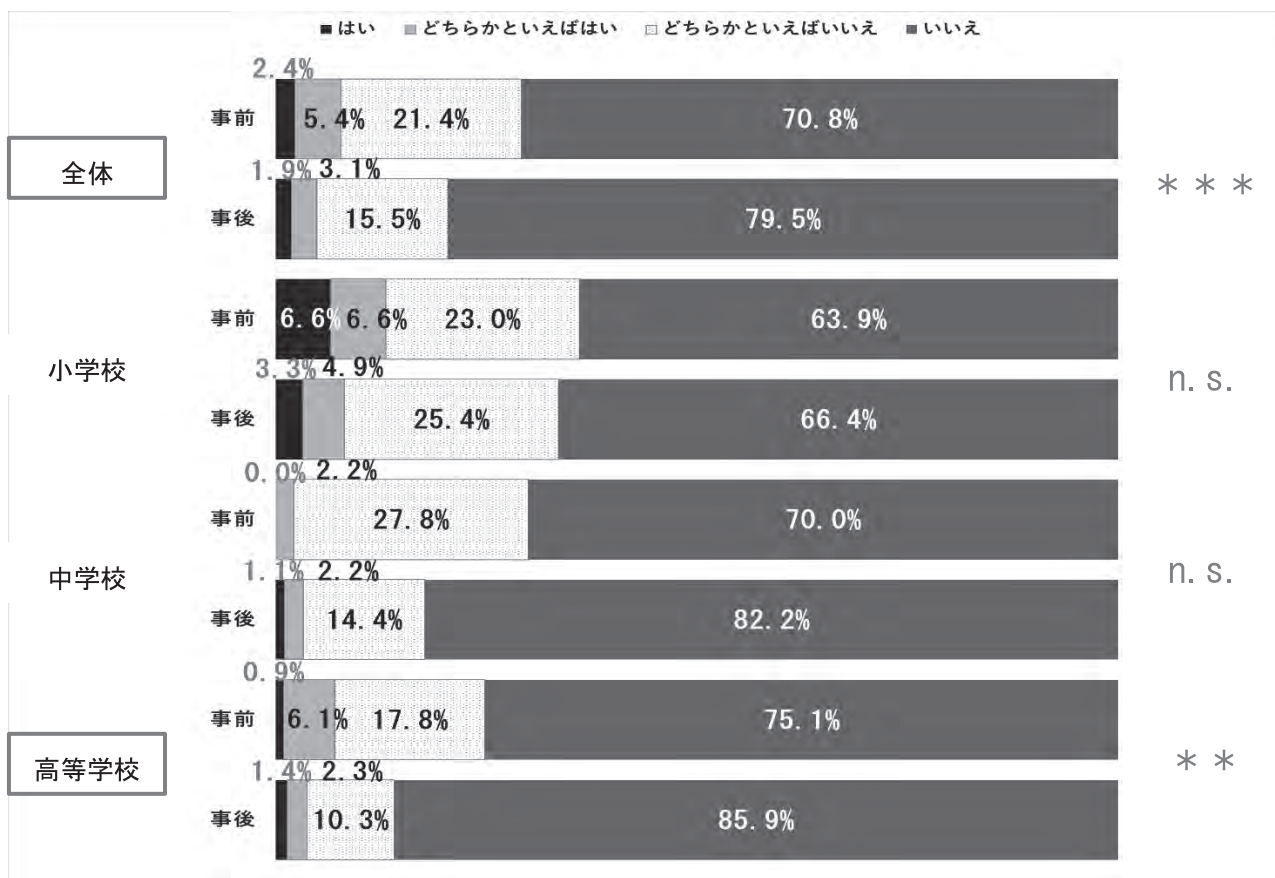
11. 体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。



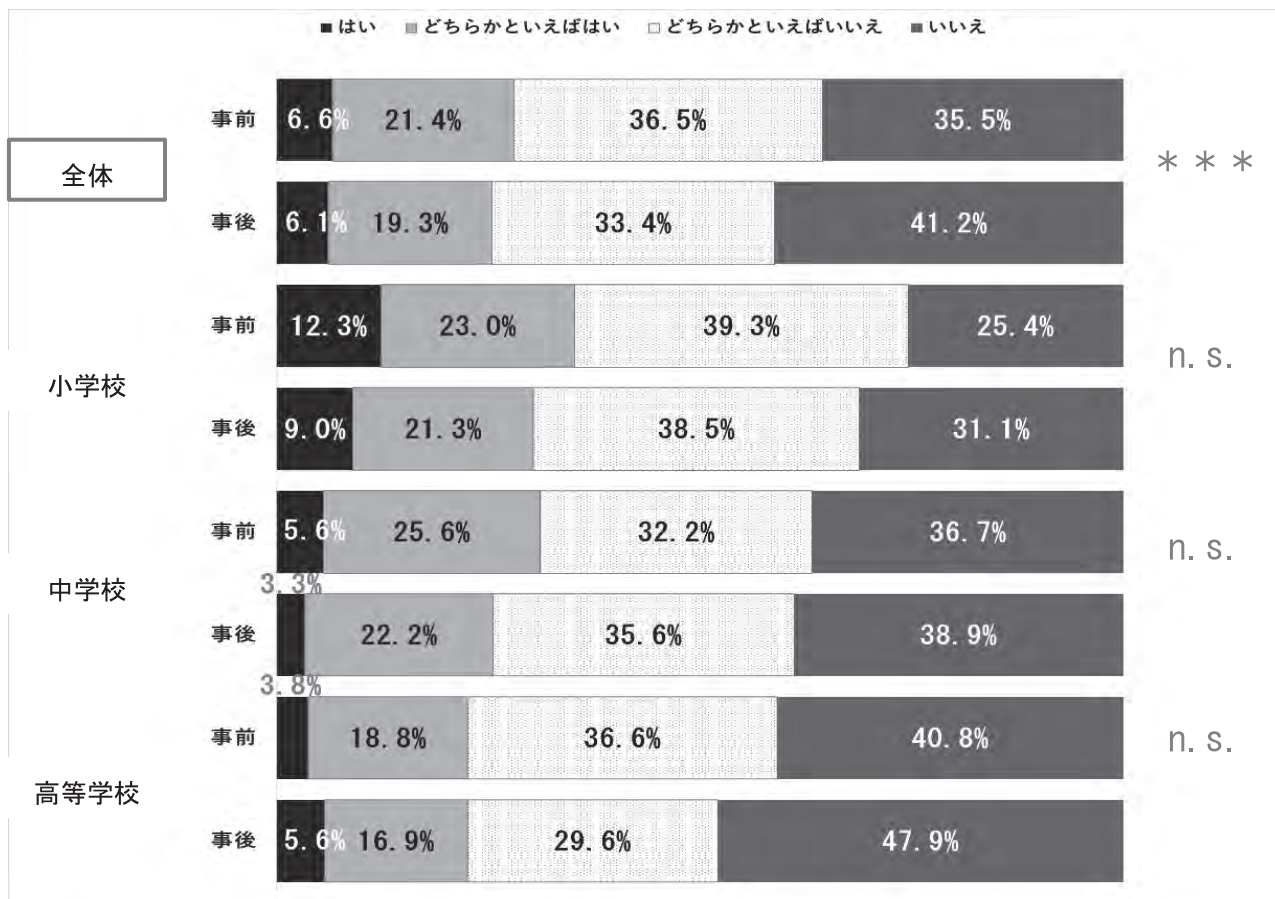
12. 体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。



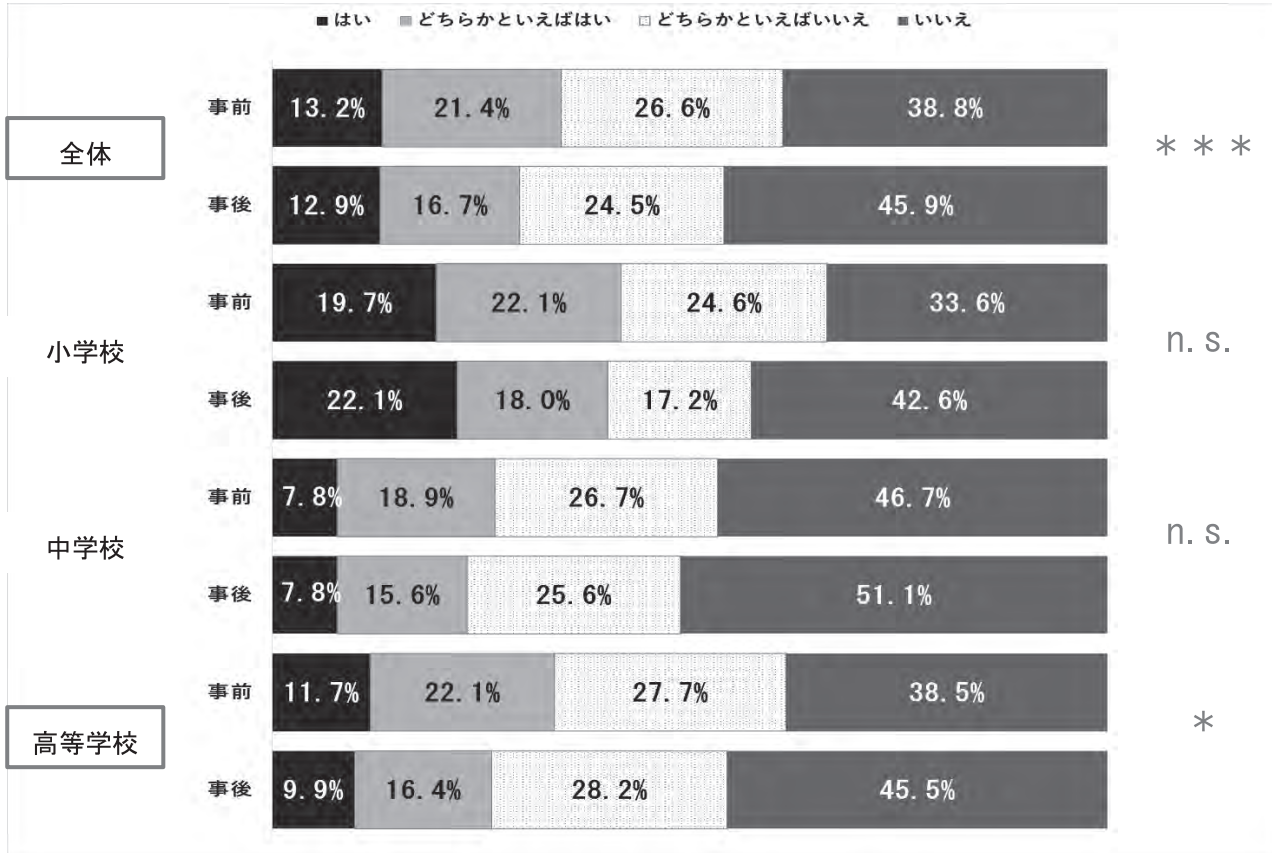
13. 体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。



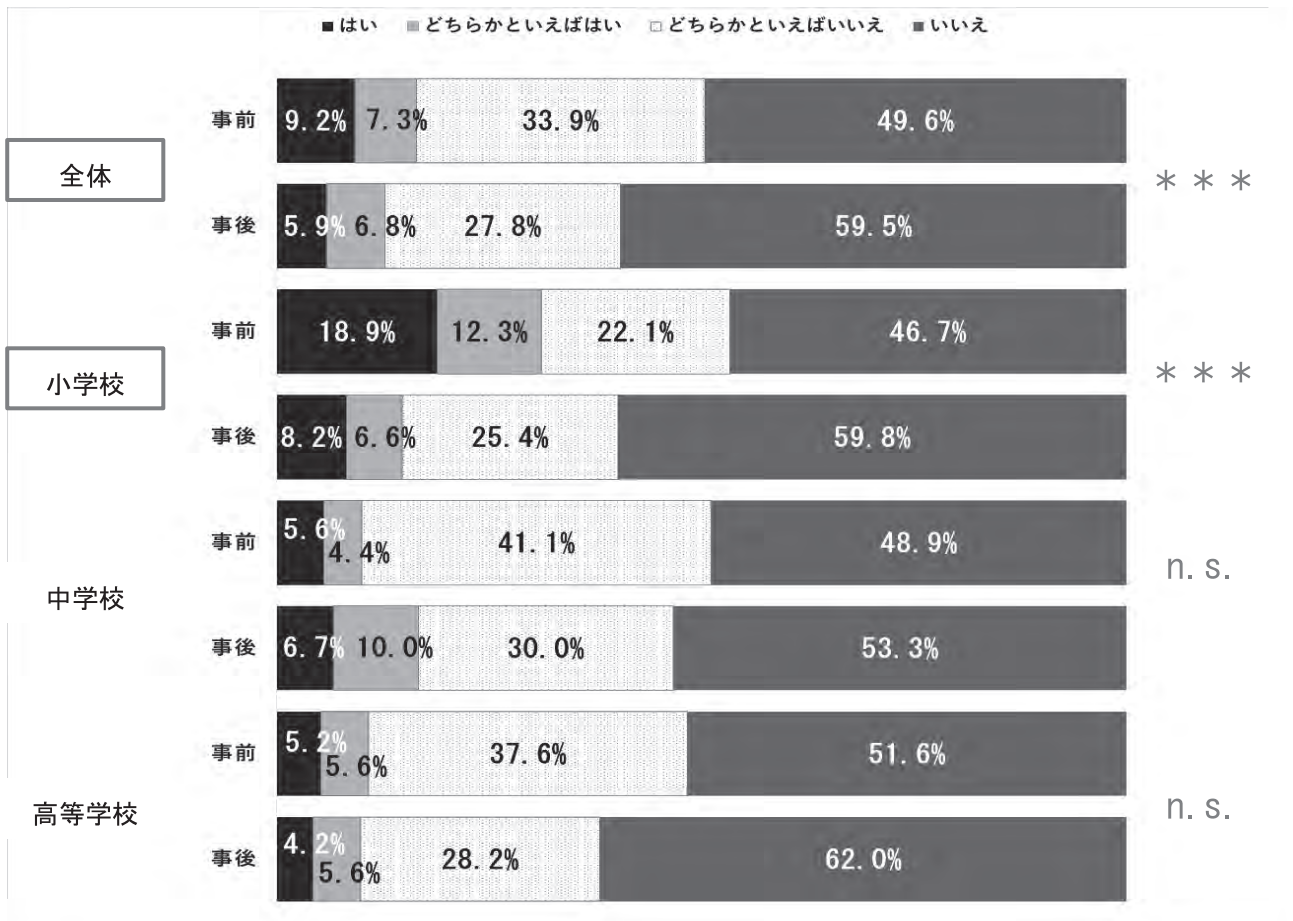
14. 体育のゲームで、勝つことは何よりも大切です。



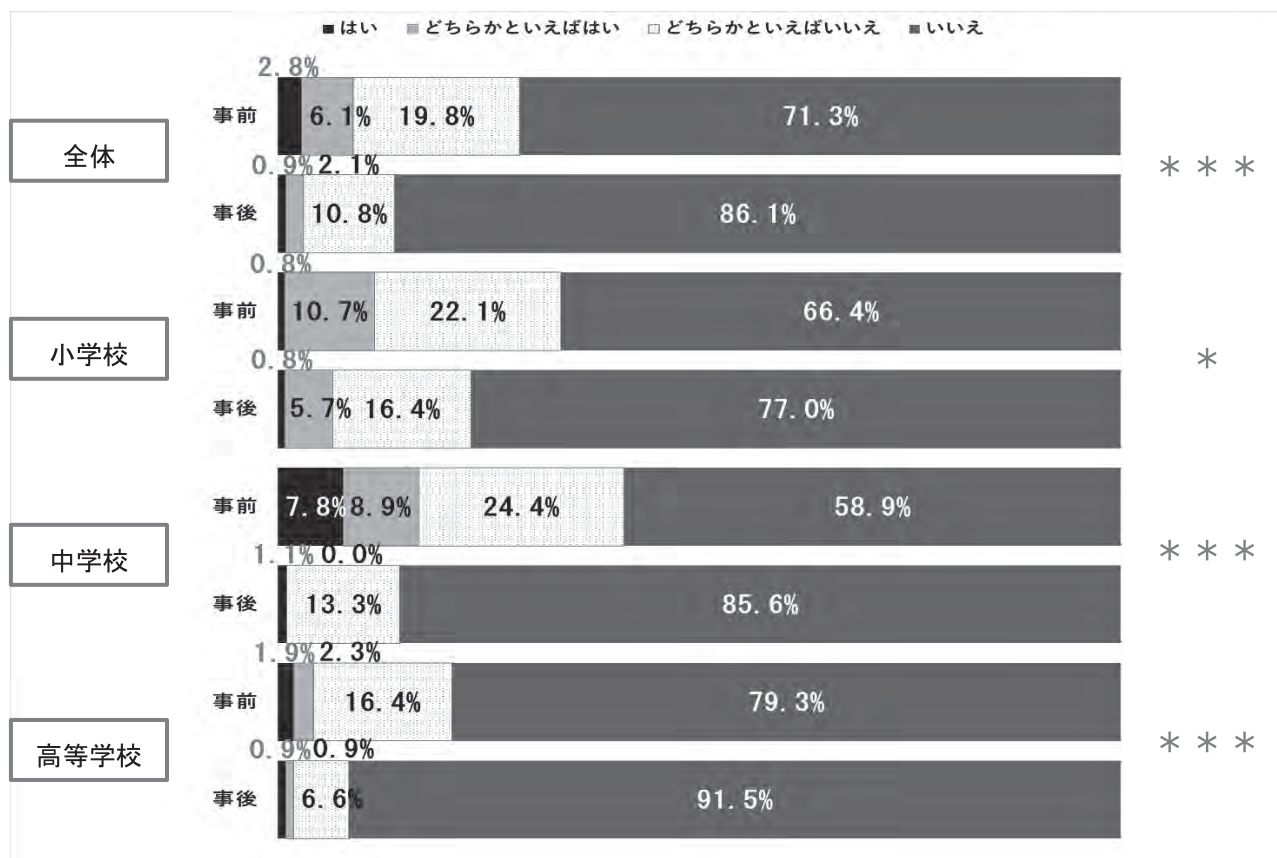
15. 体育のゲームで、どんな方法でも勝てるとうれしいです。



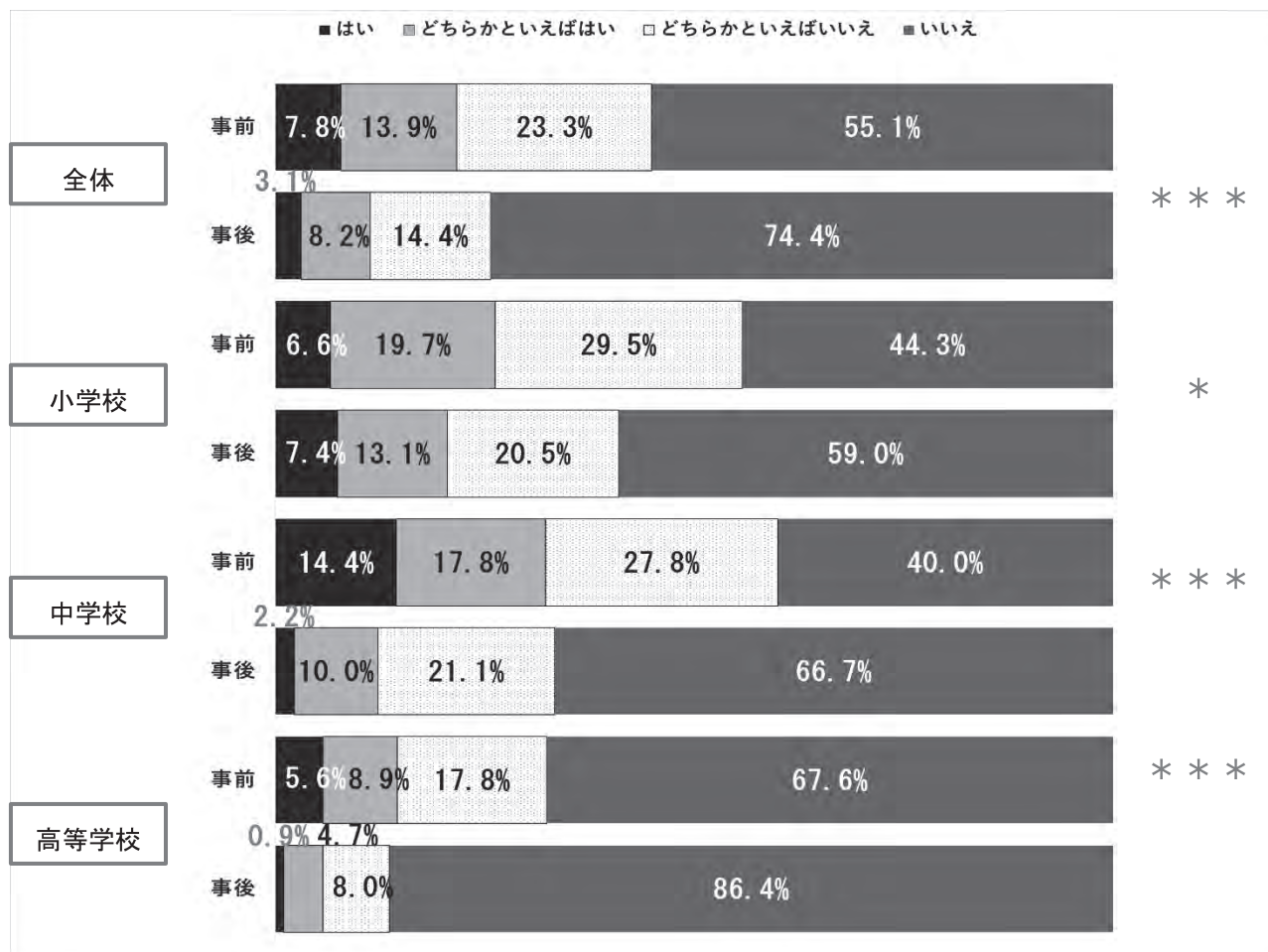
16. 体育のゲームで、仲間と協力することより、勝てることの方が大事です。



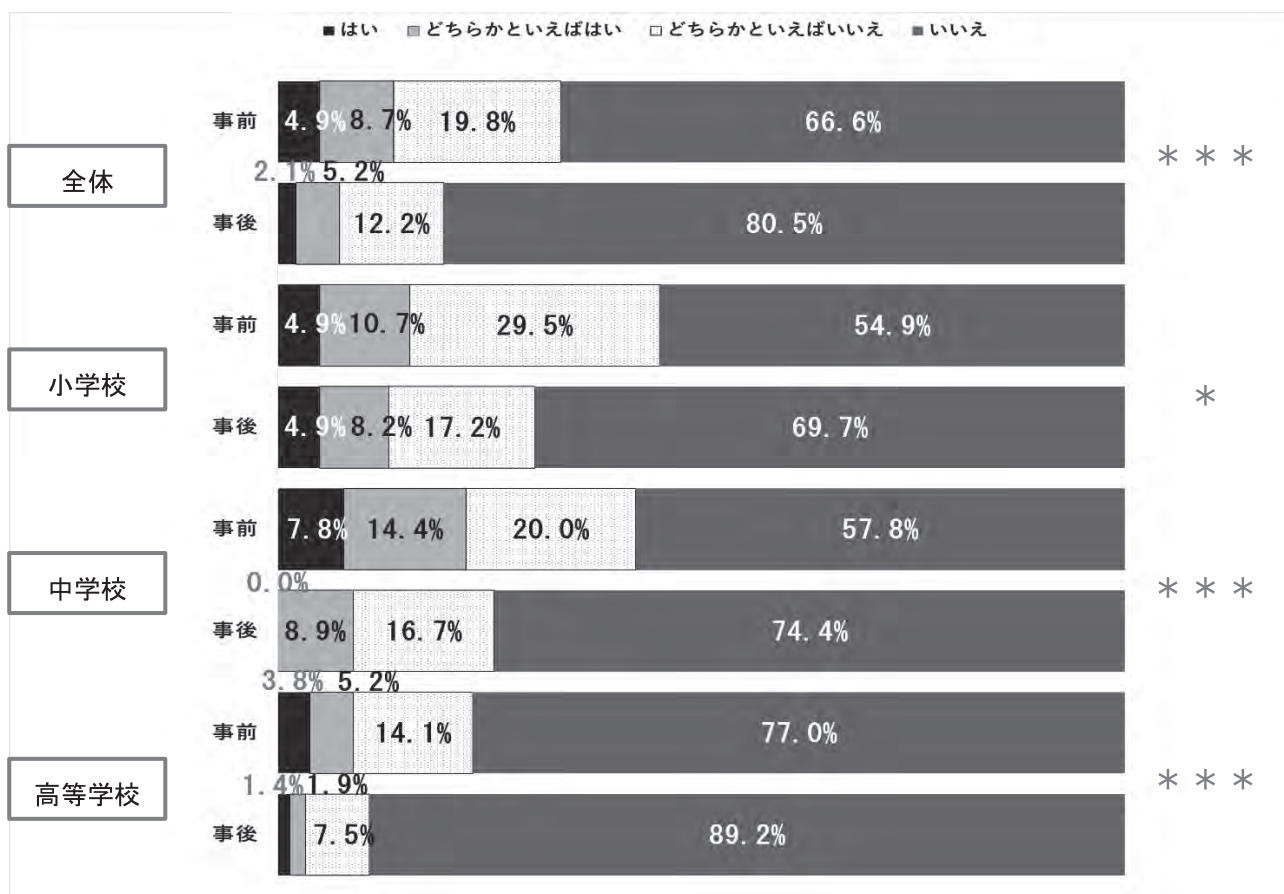
17. 体育のゲームで、負けると仲間に文句を言われます。



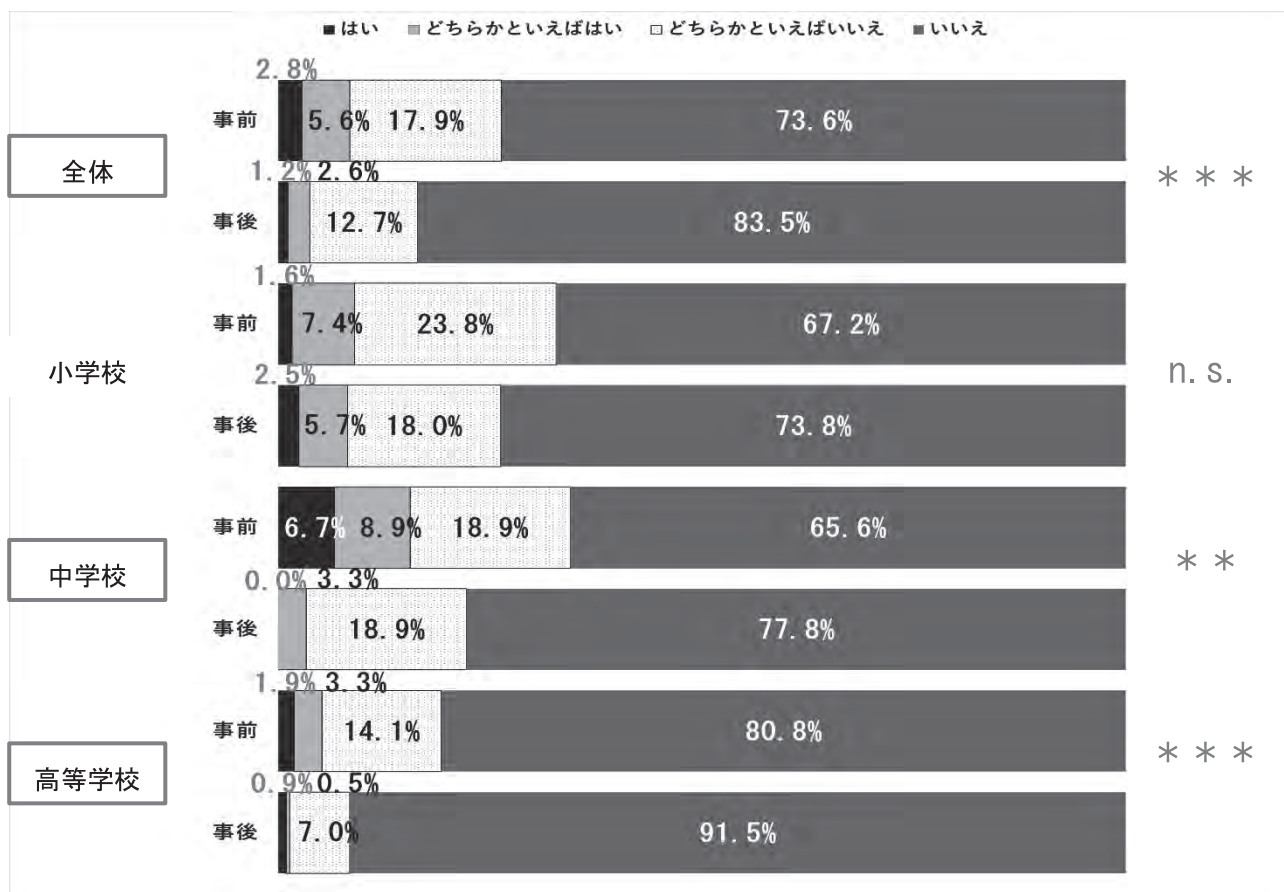
18. 体育のゲームで、失敗すると腹を立てる子がいます。



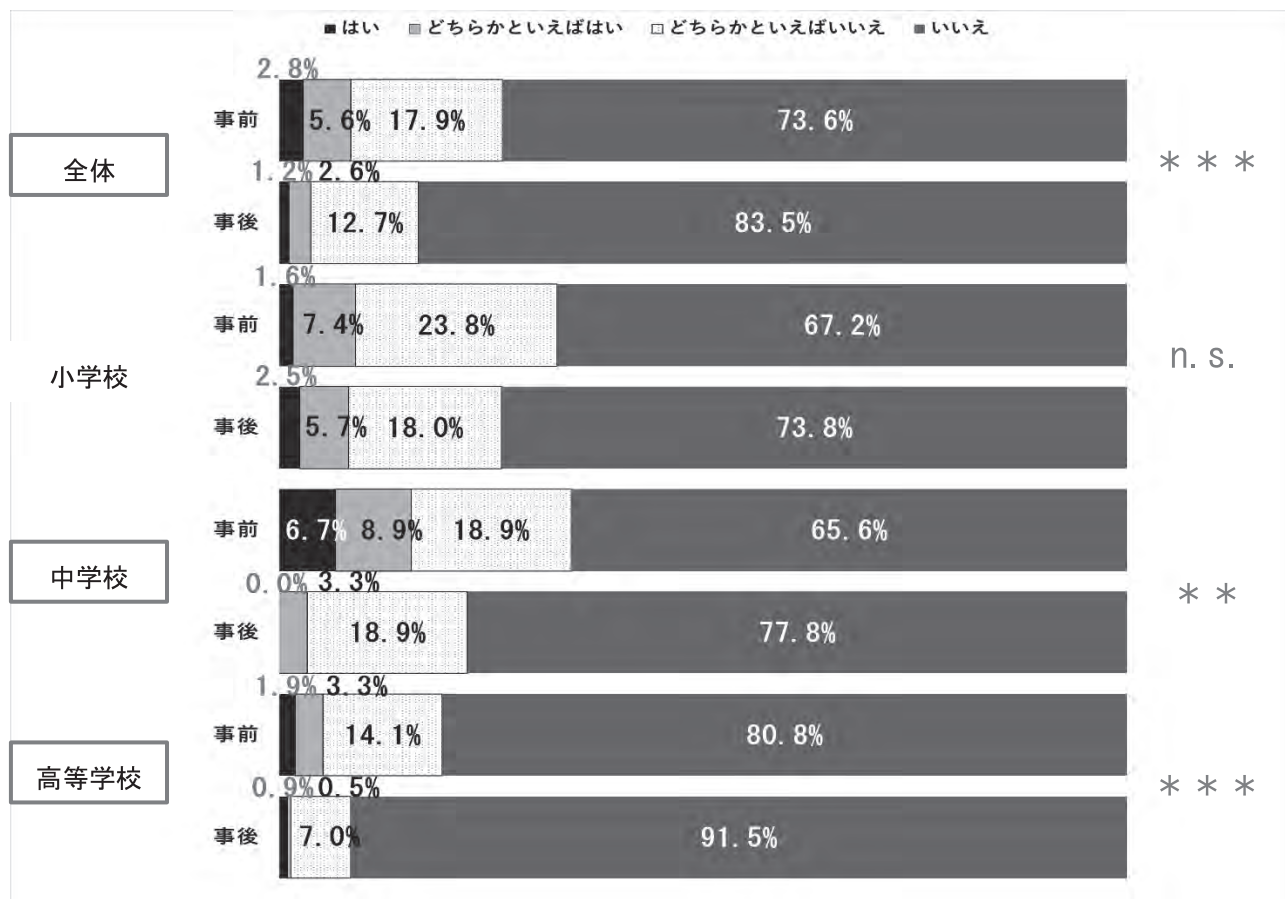
19. 体育の学習で、運動の苦手な人を責める子があります。



20. 体育の学習で、異性の子から失敗を笑われることがあります。



21. 体育の学習で、自分だけ運動ができないことを笑われることがあります。



各 因 子 に つ い て

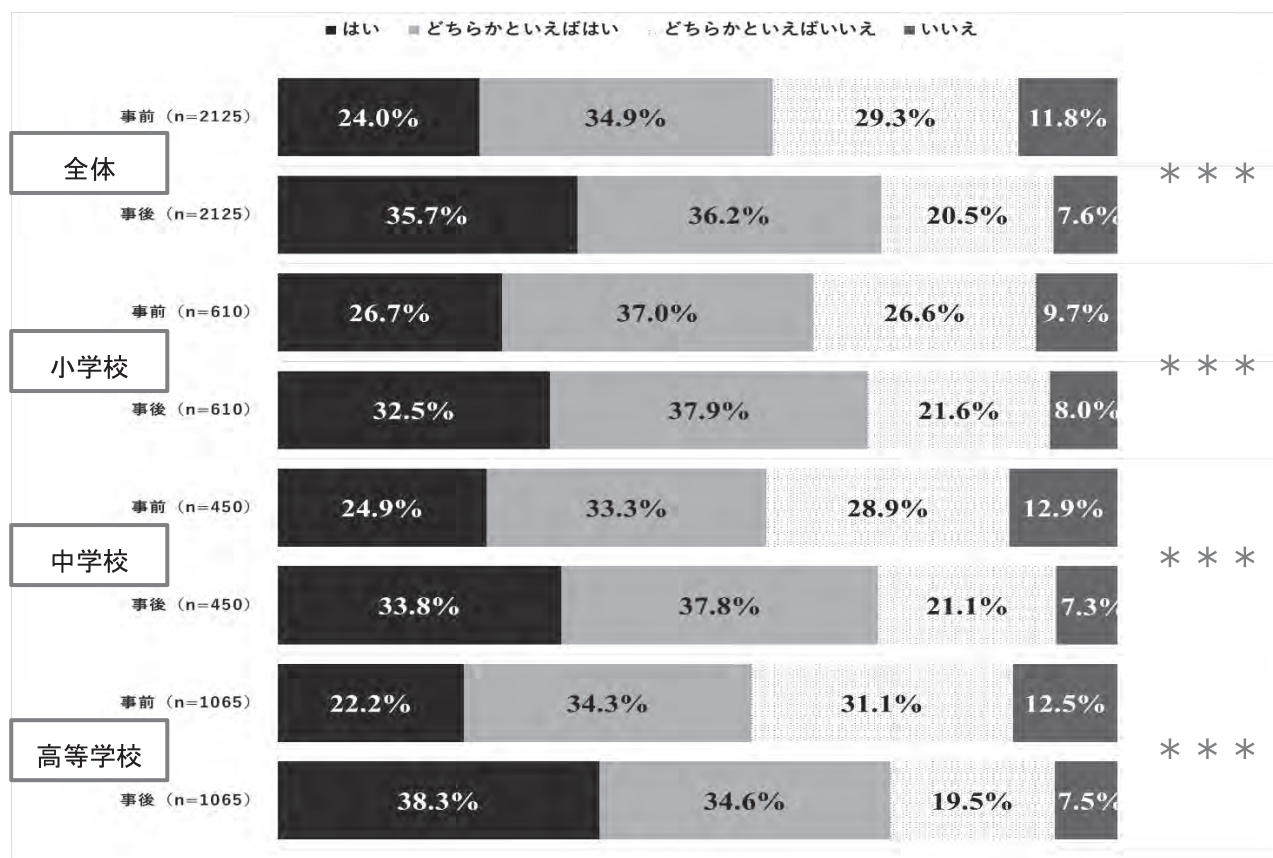
○「I リーダーシップ」の因子：質問項目1～5

1	体育のゲームで、よく得点できます。
2	体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます。
3	体育のゲームで、たくさんボールにさわっています。
4	体育の学習中、チームで協力して苦手な子をカバーできます。
5	体育の学習では、仲間に自分の意見が言えます。

「体育の授業で、自分の意見が言えない…」

I リーダーシップ因子

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の研究



有意水準 * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$

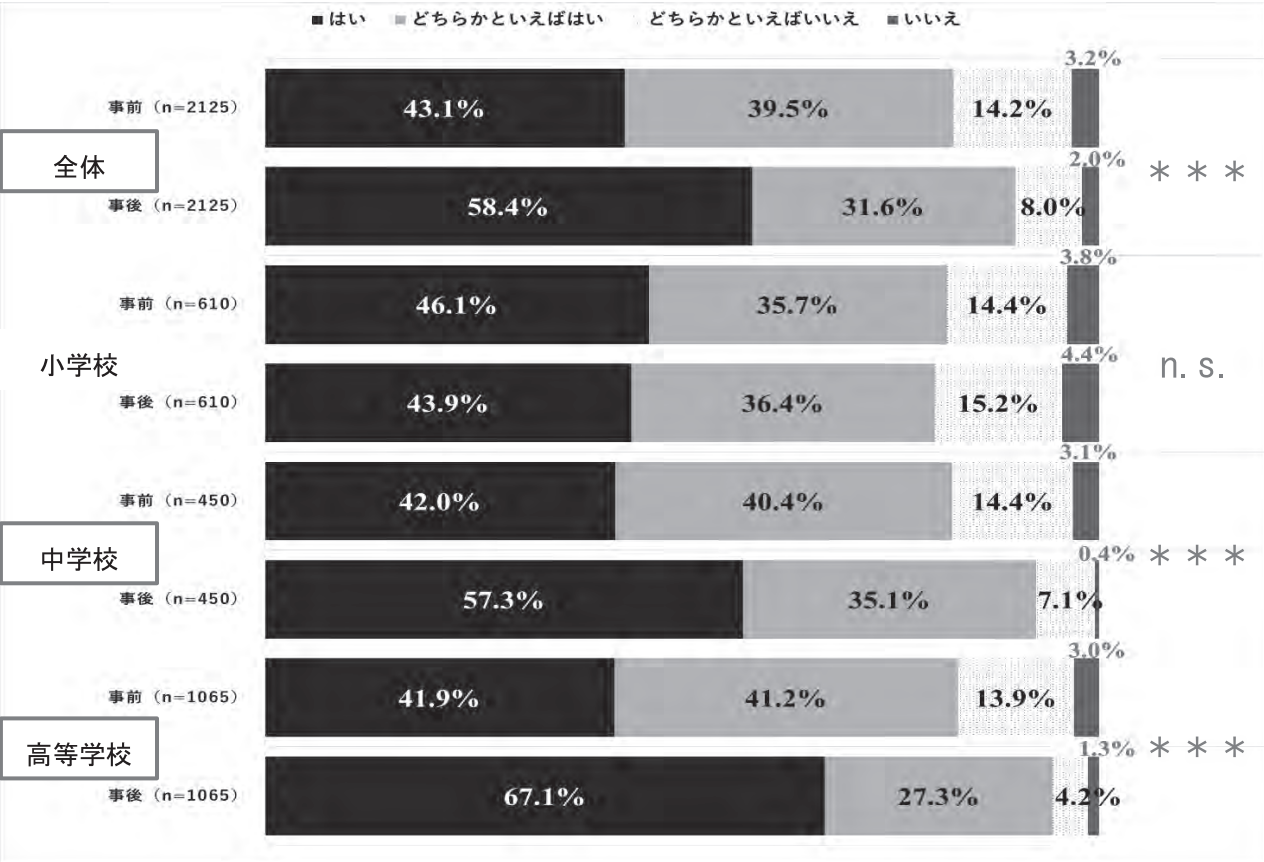
○「Ⅱ ちがいの受容」の因子：質問項目 6～10

6	体育の学習で、体力に差がある仲間と協力できると楽しいです。
7	体育の学習で、体力に差がある仲間と運動すると楽しいです。
8	体育の学習で、体格のちがう子と協力できるとうれしいです。
9	体育の学習で、運動が苦手な子と協力できることは楽しいです。
10	体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです。

「体の大きい人と運動するのは、ちょっと怖い…」

Ⅱ ちがいの受容

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



有意水準 * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

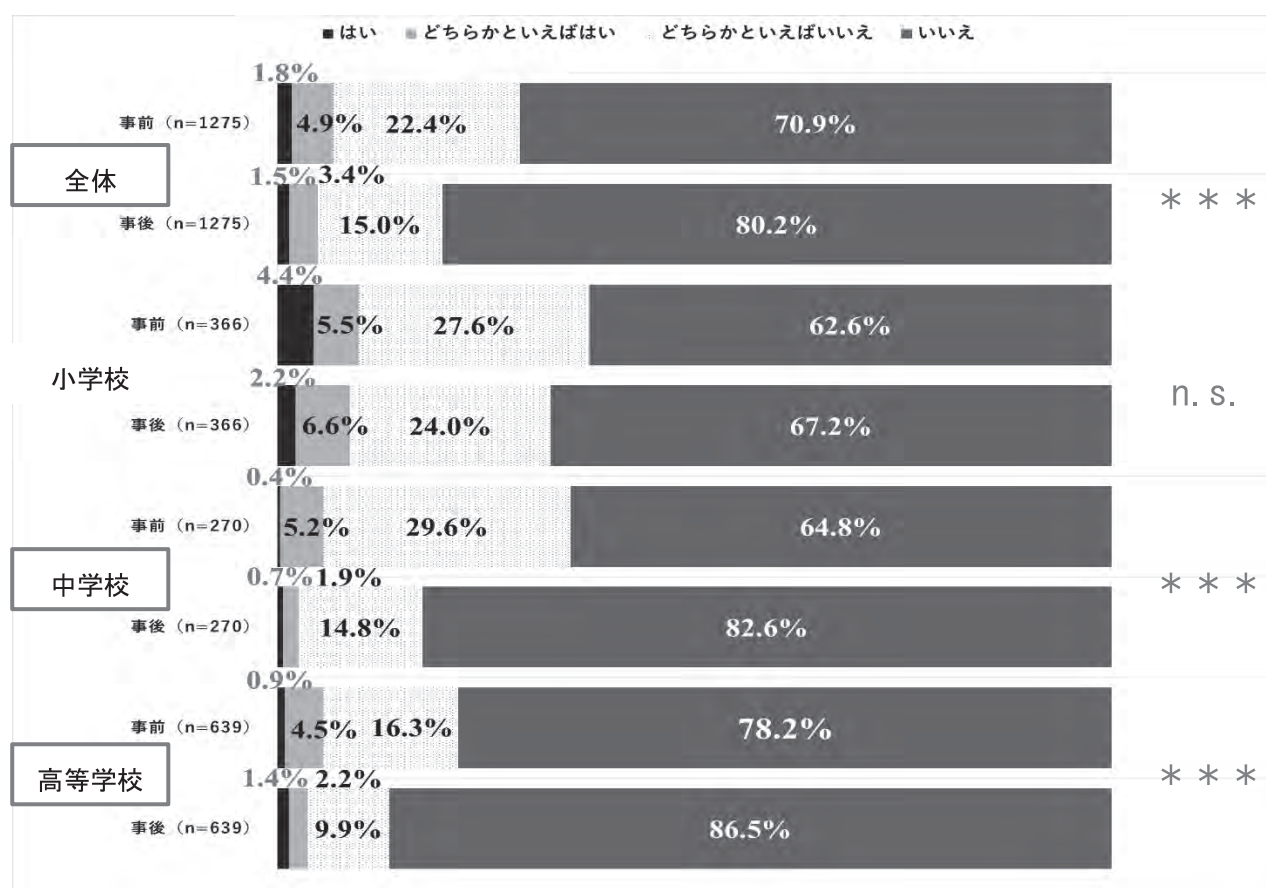
○「Ⅳ 失敗への排斥」の因子：質問項目 11～13

11	体育のゲームで、運動が苦手な子のせいで負けると腹が立ちます。
12	体育の学習で、ミスした子を責めてしまうことがあります。
13	体育の学習で、同じグループに運動の苦手な子がいると困ります。

「体育の授業で、失敗すると笑われる…」

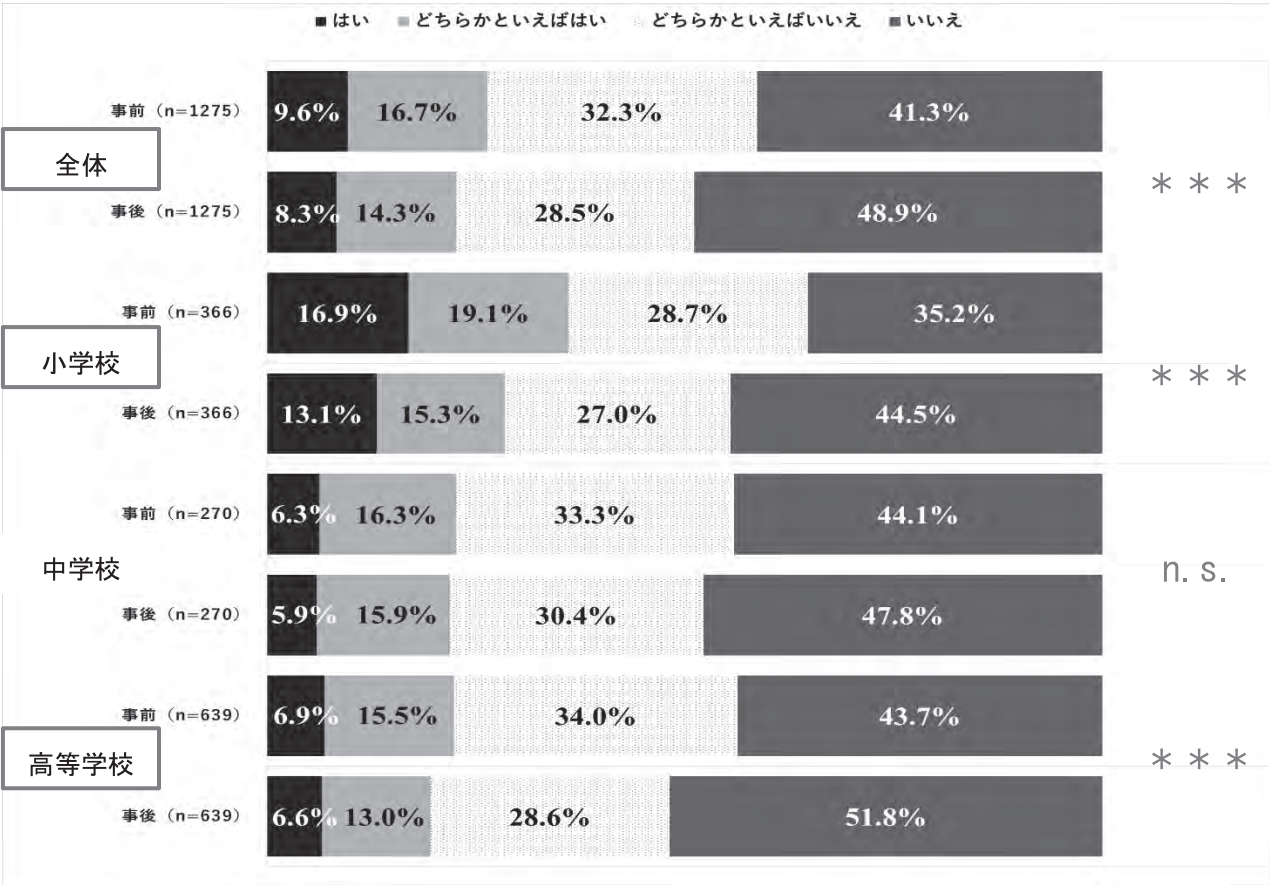
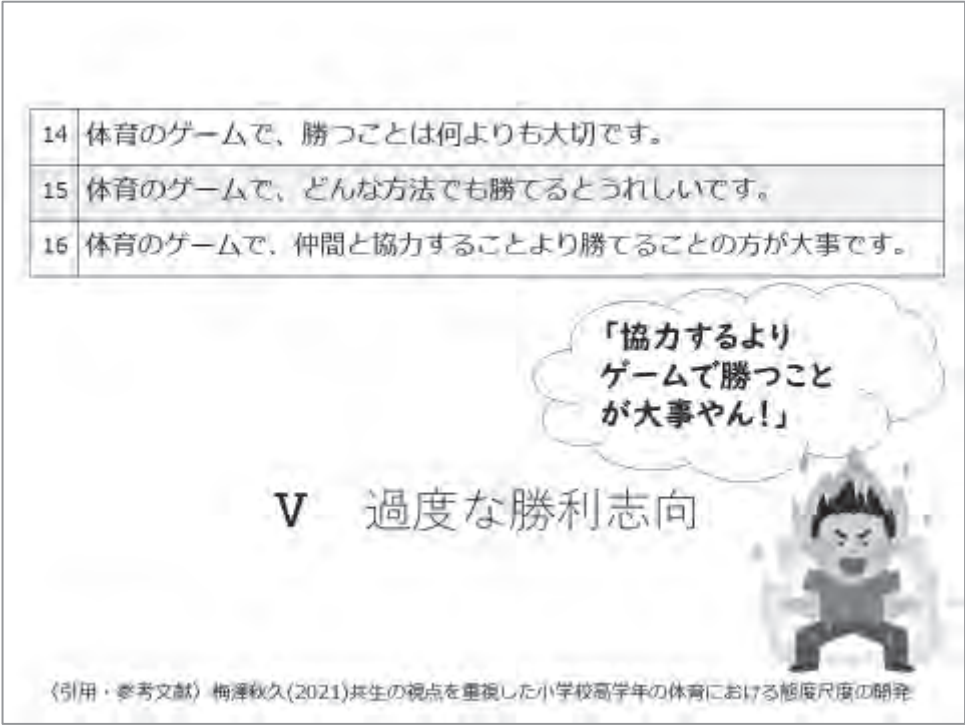
Ⅳ 失敗への排斥

〈引用・参考文献〉梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の研究



有意水準 * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$

○「V 過度な勝利志向」の因子：質問項目 14～16



有意水準 * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

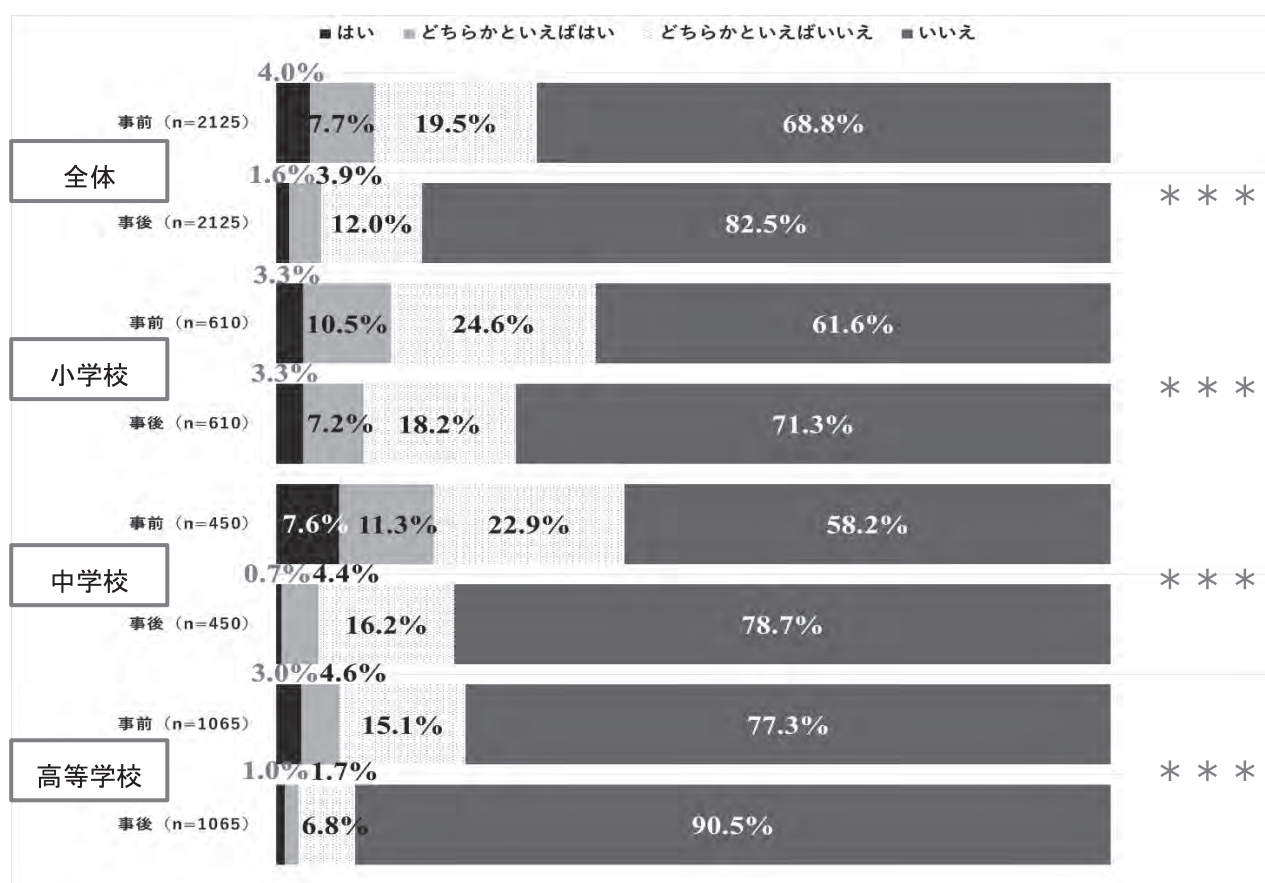
○「排除雰囲気」の因子：質問項目 17～21

17	体育のゲームで、負けると仲間に文句を言われます。
18	体育のゲームで、失敗すると腹を立てる子がいます。
19	体育の学習で、運動の苦手な人を責める子がいます。
20	体育の学習で、異性の子から失敗を笑われることがあります。
21	体育の学習で、自分だけ運動ができないことを笑われることがあります。

排除雰囲気

「〇〇さんと
同じチームだと
負けるやん……」

(引用・参考文献) 梅澤秋久(2021)共生の視点を重視した小学校高学年の体育における態度尺度の開発



有意水準 * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$